

平成1年1月1日 新年

A HAPPY NEW YEAR

いろんな出来事があり、27日に来てからも、たくさん、たくさん、ドラマが生まれました。人が去り、人が来て、入れ替わり、また新たな時が訪れる。新春を小屋で迎えるのは何とも妙な気分で、本当に‘88から‘89になったんだという実感はわからない。しかし小屋は相変わらずだ、下出は酒を飲み、25thの竹内氏は語り、そして竹内氏の同僚のミヤザワ氏と遠藤と私の5人が起きています。AM2:45である。新春。1年の計は元旦にあり、という訳で

- 1, 今年がよき年になりますように
 - 2, とうとう大学4年になるんだな・・・
- ‘89, 1月1日という訳で小屋に居ます。

30th 藤尾

平成1年1月1日 AM3:00

まだ、年が明けて3時間しかたってませんねえ……。8人で食べた年越しそばおいしかったです。あさって帰るのかな。ねむくてどうしよう。頑張っておきてます。ふーっ

32nd えんどう

おはようございます。結局、今朝は4時頃寝てしまいました。で10時頃起きてきて今、おぞうに食べたところですが・・・私は、おもちが嫌いなので汁だけのみました。屋根から雪がドタドタ落ちてます。小屋がこわれませんようにー。

栗きんとん、黒豆、魚の缶詰、紅白のかまぼこ、お雑煮、正月なんだな。というわけで、みんな好き勝手にしたいことがあるので、私はつまらんです！

89年に向けて、来年は卒業するぞー

よっぱらっているぞ、山田、服部はつぶした。藤尾遠藤は生きている。そんなところで飲んでいる。1989年1月1日、12時49分39びょうだぜ

下出直孝 ちなみに30th

思わず年越しすることになってしまった。初めてスキーもやったし、89年最後の大学生活にもうひと花咲かせよう。

30th 服部

0:49 Jan. 1st. Sun

みなさん、あけましておめでとうございます。時の経つのは速い物で、1989年(昭和64年)もあと3654日を残すのみとなってしまいました。とりあえず今年もよろしく！！

・・・私はと申し上げますれば、実は部外なのでして・・・先述の竹内大人のフロクとしてこのお小屋様にお世話になることとあいなりまいてございます。

実はとつても私はLityなわけで、こういうワイルドな体験ははっきりいって“初体験”なのです。うふ、はずかしい・・・。

But こんなふうにな年を越すのもステキだし、小屋の雰囲気もすばらしいと・・・って思っています。竹内大先輩の客人みたような顔でぼーっといすわっている私に夕食をつくってくれた現役のみなさん、ほんとうにありがとう！！ホントはおんなじ学年、年でボクも「現役で大学に入っていたらおんなじノリで食事当番をやっ、おかまのごはんをお湯でしゃかしゃかとこすらなきゃいけなかったのかもしれないのに・・・。でも、でも、てめー俺のことえれ一年上にみてたどろっ！このやろっ！俺は本当は若いんだぞっ！ホントなら30thって書いてもいい年なのだから・・・！話しはだっせんしましたが、竹内大先生はじめ、同店のみなさんの心根にとつても感謝カンゲキして新しい年をむかえられたこと、とつてもうれしく思います。みなさん本当にありがとう！じゃ、又書きます。

by きんたろうみやざわ 諏訪市

昨夜は某下で下出にからまれいきなり酔いがまわってねてしまいました。左の代筆がその時私が気持がわるくていった事です。まあ、とりあえず年があけたわですが、これといつて特に気分も新たにという気持はあまり私にはおこりまでですなーハイ。年が明ける寸前と年が明けた瞬間というのは何かありそうで実は何もないんですね。天文学的な時代と比べればほんの一瞬でしかないんですね。それでも何もしないからこそこの一瞬は永遠なのですね。というわけで今年もよろしく。

30th 山田

スキーをしたら一段と真っ黒になってどっちが顔の正面なのかわかりません。困ったものですね。私の目の前にある黒豆と同じくらいでしょうか。

下出さんはタバコばっかーりすってます。いけませんねえ。宮崎さんは昨日の姿とどうって変わって、朝からマンガを読んでます。服部さんはいつも寝ています。シュラフをまきつけてだるまさんみたいです。山田さんは動きません。地蔵とよばれている。ゴミとも呼ばれている。シンデレラともよばれている。お姫様を待っている。2分の男ともよばれている。やっぱプロプロしている。山田君の好きな動物は1, うま、2, パンダ、3, ゴリラ。

遠藤: 1, リス、くりくりしてる。ちょこまかしてる。ところ←自分の望む姿。2, ラクダ、こぶがついている。ラクダの背中にのりたいたい←他人から見られる姿。

3, キリン、のっぽ。いろんなものが見渡せてスゴイ
←自分の真の姿。

さっき“たばこ”というものを生まれてはじめてすい
ました。まずかっただよ。2度と吸いたいとおもいま
せんよ。

平成1年1月1日 pm3:20

あけましておめでとうございます。今日は雪が朝から
降っています。外ではいま、エライ現役が雪かきに精
を出しています。正月早々のハードなトレーニングご
くろうさまです。小屋内では夕食のおでんづくりをえ
んどうさんがしてくれます。寝て本をよんでいる宮
崎君、なぜかアミモノをしている宮沢氏（彼はこれが
今回の目的である）平和な元旦の小屋です。

竹

平成1年1月2日

夕べは酒がなかったせいかととても静かな夜でした。も
うそろそろ出発しようかと思えます。現役の皆さんの
いかげでグータラと楽しい年越しができました。あり
がとう。

竹

我々はぼちぼち、お小屋様とサヨウナラなのです。30
日に入って3泊4日。こんなすばらしい越年の経験w
のさせて頂いたのも現役のみなさんのおかげです。ど
うもありがとうございます。みなさんもお体にきをつけて、勉強
に仕事に頑張ってください！

P. S. セーターの後ろ身頃もうじき完成します。で
はbye

きんたろう みやざわ！

AM11:25

現在の小屋の状況。

その1、 服部、やっと起きて漫画を読んでいる。

その2、 宮崎、なぜか山田に退行してギターの連取
をしてる。

平成1年1月3日 AM9:00

今シーズン現役部員の冬小屋も今日で終わろうとして
いる。メンツとブキの煮沸をやりつつ、余った食糧の
処置に困っている。私は先発隊として12月22日に
土生（30期）坂井（30期）と3人で入って以来今
日まで小屋で過ごした。ここ2シーズンは少雪という
ことで、冬小屋のイメージは楽だったが今シーズンは
豪雪で小屋入りは苦労した。4人乗高速第2リフト（フ
ード付き）の登場でスキー場の人気は高まり、スキー
屋の質（おしゃれ度）が進み、ますます我々にとって

やりづらくなった。ザックもリフトで上げるのにも神
経を使う。だが何よりも嘆かわしいのは、我々ワング
ルの人間もスキーウェアが主流になってしまったこと
である。小屋にワンピースは似合わない。基本はニッ
カ、セパレート上下だ。2年前、つまり私が1年生の
時は冬小屋に10日間いたわけだが、10日間連続で
滑りまくっていたものだ。だが今年は雪かきのせいも
あるのだが、暇を小屋でつぶすときがままあった。ス
キーに執着がなくなったのか、気力体力が落ちたのか。
だが、もっといい方向に解釈して、ぼーっとする喜び
がわかるようになったとか。

これが今年の状況です。ここ3年まれに見る小屋に居
る人の多さです。いずれにせよ、今度の冬小屋は例年
になく不快であった。これもひとえに藤尾君（30キ）
遠藤さん（32キ）のおかげです。本当は藤尾も私と一
緒にクリスマスを小屋で過ごすはずだったのが、彼は
私を裏切って遠藤と浅草へ行ったのだ。

浅草パーンチ！！

その同じ時我々男4人はささやかな小粋なパーティー
を小屋で行い、プレゼント交換として肩モミ、背中フ
ミフミ大会をやっていたのだ。竹沢の足の匂いをかい
でいるときにあいつらは・・・浅草へ・・・

そうやって私は欲求不満が高まっているところへ、連
日昼、夜と酒を飲み続けたのが良くなかったのか、な
んと大晦日、サンアントンのトイレで吐いてしまった。
やっとの思いでリフトに乗り、滑り降りたが、小屋ま
で歩いてくる途中でもまた大量のゲロを。とにかく藤
尾、おぼえていやがれ。‘89クリスマスは小屋で彼女
と・・・この事を土生と誓い合ったんだ。

スキーの基本は怒りだ。

何はともあれ、今年も小屋で年越した。毎度の事なが
ら新年にあたって何の感慨もない。

そうです。特筆すべきは31期の伊藤です。彼はネク
タイにコート、足下はチロリアの靴といういでたちで
麓から小屋まで歩いてきて、その日また歩いて帰っ
たのです。何が悲しくてそんなことを。

時間は過ぎいく。大学4年間は世間が許してくれるモ
ラトリアムである。それをもっと伸ばしたければ、自
ら手足を使い、自分と周囲を動かさねばならない。今
年が正念場だ。

30期 宮崎

平成1年1月3日 PM 1:06

まだ宮崎と私は小屋にいる。あとかたづけもほとんど
終わりあとは床のそうじだけである。昨晩は、山田と
3人でしみじみと語り合った。こういうことはひさし
ぶりなので、とても良かった。あと、ねずみをじっく
りと観察した。体長は10cmくらい。普通のねずみ
のもつイメージとは違い、とてもかわいらしかった。
それにしても宮崎はむきになっている。しかし話しを

していくうちに「ゼリー」などのことも発見され、テンションが上がっていった。あと、オレと宮崎で山田の合コンシミュレーションをやっていたが、やはりこいつには逆シンデレラ物語しかないだろう。オレもあまり強くは言えないが。まあ、今年初めて冬小屋にはいったのだが、とてもにぎやかで楽しく年越しができたのはよかった。来年もいっぱいいろんな人たちとあえるといいなと思っている。

30th 下出

平成1年1月6日

PM 7:45

昨日、夜中の9時に小屋に入った。リフトの営業時間をころっと忘れていて、宮向商店でメシを食って6時頃下を出発した。第一リフトしか動いていないのでお酒をもらいつけものを食って再び登った。はっきりいってとてもつらい。しばらく登るとサンアントンのおじさんがスノーボービルで迎えに来てくれて、結局Jバーまで送ってくれた。小屋の入口まであと15分ぐらいだと思っていたのが新雪がすごく小屋の場所がよくわからず、結局9時に小屋に入った。いままでが一番つらい小屋入りであった。2日から5日までは黒姫にいたので、この環境の違いはでかい。超かんしゃめをウェーデルンで下ると初心者が多すぎてすごくつかれる。明日はゆっくりと帰ろうと思う。小屋は-8℃だった。

28th 梅田

平成1年1月29日

PM1:30

雪下ろしの為にやってきた4人組(小屋委員長増田(31st)、松尾、松田(31st) 服部氏(30th)) 27日の晩から降り出した雪が地元の人でも驚くほどの大雪で、なんとJバー乗り場から小屋までなんと2時間半“なんと”が続くがそれはそれはすさまじいものであった。別名雪下ろしPWとして楽しんでこよときたいしていたが一転してただのラッセルPWになってしまった。胸までのラッセルなんて普通で、さすがに目の前に雪がある、視界が全くないというラッセルには思わずうなってしまった。まさに雪の中を泳いでしまった。というわけで初日は仕事がほとんどできず、酒飲んで寝ただけだが、なんとか2日目の今日は柱と側面はちゃんとできそうです。目前にひかえた後期試験、今ごろ、経、経は試験に向けて美しき友情、そして普段は話さない者同士が急に仲良くなる気持悪さを部室で見せていることだろう。私たちが試験さえなかったらもっと小屋で静かにのんびりと過ごせるのに。ただ、今回参加の某30thの人だけはそろそろ冗談でなくなってくる。まだまだ帰りたくない。もっと居たい。遭対合宿のコース下見は時間もなく、ラッセルの必要ないので今回はできない。残念。今日下まで帰

るのに何時間かかるだろうか。それからJバーと小屋の間に数カ所に赤布(YWVとか書いてある)があるが、今回のラッセルのとき、視界がきかなかったのでつけたもので、本来のルートではありません。ただし確実に小屋にはつきます。混乱しないようにして下さい。

31th 松尾

平成1年1月29日 pm 2:50

ふう、やっと終わった。ご苦労様

平成1年2月28日

春小屋遭対先発隊だ。俺は伊藤だ！宮崎さんはあんなこと言っているが(前々ページ参照)冬小屋先発ではいれなかったからわざわざ差し入れを持ってきたとゆーのに・・・。んなこたあどーでもいいけど、足がつつた。どーにかしてくれ！

我々は先発隊だ。全部で6人。只今5じをまわったところだ。柱四本を掘って井戸も掘ってキジ道をつくったんだ。おかげでみんなうでがいて一だの、足がつつただの、勝手なことを言っている。後発隊のみんな明日はがんばろー。

中村と八重尾(わじま)がカレーを作っている。非常にナイスな香りだ。増田はそこらじゅう歩きまわり働いている。あー暇だ。いや静かでなかなかふんきが良い。

平成1年3月1日

5:46 PM

初めて小屋にやってきました。32ndの斎藤です。今日は同期の八重尾が成人してしまい、中村が19歳になってしまった記念すべき日(?)であります。スキーで転びまくって左アバラ骨背面部がズキズキ痛む。うーん、うーん。

小屋の印象は、部屋より広くて良いと言う事とでもやっぱりきたねえなど、そのくらいです。今後愛着をもてるかどうかは未だわからないというのが正直なところですが・・・。松田さんがちょこひしいなど云っている、だが雪上ツアーの非常食をあげるわけにはいかない、かにかいてんだかわからなくなってきたのでとりあえずこれまで。

平成1年3月4日

AM9:16

今日は朝8:00頃雪上ツアーの人が出発してしまって、他の多くもスキーに行ってしまう、現在小屋には5人しか残ってません。遭対合宿は考えてたよりおもしろかったけど、でも疲れしました。古いコンロを使うと必ずなべの底にすすが出来ます。新1年が

使うことを考えるとかわいそうです。何か良い案はないものか。小屋では31stの松田さん、久保さんが天気図をとっています。。そういえば、たっしゅくちゅうはほとんど良い天気恵まれて幸せでした。2日目なんて、小屋よの中より外のが暖かかった程——。正直言って、寝ても寝ても寝足りません。24時間位ぐっすりねたい。やっぱし、夜中に目が覚めちゃうのが良くないのでしょうか。AM4:00頃毎朝ふるえと共に目が覚めました。24時間位ぐっすりねたい。やっぱし夜中に目が覚めました。背中がいたい。よー。私もあと1時間位したら小屋とお別れです。また、夏小屋からお世話になりますね。それまでさよならです。

32nd 遠藤

平成1年3月4日

外はおだやかに晴れ渡り、静寂さが支配する小屋の中に緊急用にOpenにしてるトランシーバー。ノイズが時折響く、なんとなく春を感じながら小屋の周辺を散歩してきた。

雪上ツアーの無事を祈りつつ AM11:10
31st まつだ

平成1年3月6日

パウダースノーのスキー日和りだったので、小屋の周りを散策してきた。雪原にねっころがってかうラーメンもまだまだテクはおとろえていない。新雪の妙高、黒姫は美しすぎる。ゲレンデスキーなんかやってるヤツがアホに見える。安全靴は小屋にあげます。長グツがかわりにつけて下さい。

31st 伊藤

たいへん助かりました。ありがとうございます。

32nd 八重尾

平成1年3月7日

3月1日に小屋に入り本日帰ります。すっかり綺麗な小屋になりました。しかし寒い。さてスキーに行こう。

32nd 高瀬早

平成1年3月7日

一週間近く(2/28~7泊8日)も小屋に入っていた。早かった。寒かった。1年生も2人(八重尾、高瀬)が残っていたのしかった。あとはスキーやって帰ろう。

31th 増田(小屋委員長)

平成1年3月7日

遭対合宿、雪上ツアー共に無事終了することができ、ほっと一息今日はのんびりとスキーをして帰ろう。この季節の小屋のすぐ近くの良さを知ることができ、楽しめてよかった。7泊8日とは信じられない。あっという間の一週間だった。非常に楽しかった。よい一週間だった。

31th 松尾

平成1年3月17日

冬小屋に続きまたしても来てしまった。(今は長沼氏と2人。明日は関がやってきて、私は帰る。)今日は寒の戻りで異様に寒く、小屋に入るのにも近くまでのラッセルをするはめになりヒジョーに疲れた。それにしても土生と宮崎はエライ。よく4年続けて先発隊を努められるんだ。誰もいない小屋はとてもきれいだ。せっかく現役の人達がキレイにしてくれたのに悪いなあと思いつつ早くも小屋にはワレた焼酎ビンが転がっている。春小屋の時に一緒に片づけてというのはどうでしょう?とゆーわけで外の厳寒とは裏腹に小屋の中はぬくぬくとしている。ところで誰か小屋にラジカセを寄付しないか? AMラジオは退屈だ。(FMが聞こえないのだ。)

OB 木虎

現在PM10:00長沼は1年ぶりの運動に全く疲れ切ったようで寝ている。私も寝酒に妙高山を頂いているところである。と、屋根の雪の落ちる音だ。そーいえば雪かきは良くやってあったと感心した。おかげで50~80cm(?)位の降雪が前の晩からあったにもかかわらず、小屋も井戸もほとんど掘らないですんだ。しかし、小屋を出る時はまたラッセルだろう。春小屋でこんなに寒い思いをすることは信じられないが、雪の方はまさにパウダースノーになってしまった。今日帰るのが残念でならない。また来シーズンもこよう。

平成1年3月18日

宮崎や土生にはとてもおよばないけど私(長沼)も毎年雪のある時期にここに来させてもらってます。しかし、卒制で運動不足の生活が長かったせいか、ひじょーに体が痛い。どうやらスというのは日頃使わない筋肉をいじめるらしく、ブランクは命とりです。ついでに今回は差し入れのつもりで持ってきた焼酎がザックの中でみごとにコナゴナとなっており、シュラブからなにからすべて酒臭くなってしまい、踏んだりけったりではあります。とはいえ、サンアントンのおねーさんがどうやら顔を覚えてくれていたらしいのがただ一つの救いです。

平成1年3月18日

本当に久しぶりに苗名小屋に来ました。確か最後に来たのは3年の夏小屋以来だから1年半ぶり。スキーに来たのは2年の春くらい2年ぶりということになる。あまりにも間が空いてしまったので小屋に何を持ってきたのかもわからない始末で、シュラフとシュラフカバーくらいしかもってこなかった。少しは宮崎を見習わなければならないと思う私です。スキーは相変わらずヘタ!!な29thせき（OBなんだから、ふん・・・。）

平成1年4月30日

新歓の小屋にこのこやってきたのは、私29thふくしまです。1年生諸君フレッシュですねー。私も今は教師1年生フレッシュです!いいですね。何回来て小屋ってのは!!

29th OB福島

平成1年5月13日 16:30

5年ぶりに小屋に来ました。相変わらずでホットした。このノートを見ると25th竹内さんも正月には来るそうで、今度は私も来ようかなあなどと思う。今日は朝6:00出発（八王子）で鬼無里にやってきた（水バショウが良かった）そのついでによってみた。これから帰る。現役のみなさん部活動、小屋の保全がんばって下さい。私が直した「ナガシ」が使えなくなっているのは残念。

26th元小屋係 川辺

平成元年6月4日小屋管理人杉ノ沢岡田悟が雪越しの為来て小屋の中を見る。老1日に早く資金を募集して新しい小屋を建築するようにOB会にももうし出されて資金を集めては如何?

平成1年6月18日

小屋は相変わらず じゃないぞナンナンダこのゴミは、袋に詰めておいたゴミは粉々に散乱!ねずみのせいだ。おかげでトイレの前はゴミの山。よくこんだけかんだものだ。しかし小屋に一人でいるのは怖い。たとえ朝でもやっぱりこわいもんだ。夜にならねえうちにさっさと降りよう。

それにしても笹ヶ峰牧場はほんとにすがすがしい小屋に通じる道やアスファルトの道路脇には車が鬼のように駐車している。今日は日曜日、天気はくもり時々晴れのち大雨

五八木のおやじさんはいつも通りとうりょうは何だかんだと理由をつけて柱を直してくんないし、まったく、お願いしますよ!やべえ暗くなってきた。雨も降ってくる。コワイコワイ（疲れたという意味だよ）

平成1年6月24日

昨日来ました。小屋はきれいに整備されてて気持ちがいい。懐かしい限りです。

野尻湖のサンデープランニングというところのやっているカヌースクールに行くために来ています。金、土、日の3日間、なかなかまっすぐに進まず、結構奥が深そうです。それと“沈”のおもしろさ!初めは気が引けますが、一度やっつてしまえばこっちのもの。ほとんど水遊びといった感じです。ただ寒いときはつらそう。昨日は雨無降らず結構暖かかったけれど、今日はザーザー降っているのと寒そうだな。明日はサイ川（漢字がかけない申し訳ない）川下りの予定です。（雨で中止にならないといいけど）。ゴールするまでに何回ひっくり返るのか、なかなかハードな一日になりそうです。

一緒に来たヤツはもう寝てしまいました。（高校のときの同級生です）ほとんどは4人の予定が都合で2人だけになってしまいました。もう少し人がいないとちょっとさみしい。あしたは朝早く出てそのまま帰ります。そのうちまた遊びに来ようと思います。やっぱりこkはいいとこだ。

23:15 26th大村

平成1年8月15日

8/12 22期浅沼、鴨志田、立浪

24期 鴨志田

部外者 2名

8/13~14 妙高、火打登山

8/14 浅沼、鴨志田×2、部外者1名泊

平成1年8月28日

妙高PW（夏小屋合宿先発隊）今小屋に着きました。AM9:00。久保と横井は塩入りコーヒー飲んでい。明日、あさつと楽しい山登りが待っている。楽しみ。

31th 松尾

平成1年9月4日

今年も小屋の整備保全を兼ねた夏小屋合宿が無事終了しました。人数が少ない（31th6、32nd3、

33rd) わりには、仕事も早く終わりホッとしております。これも機械文明批判を発祥とするワンゲルにも機械文明が導入されたがごどくみなマシーンと化して仕事に励んだおかげでしょう。今年は笹ヶ峰キャンプ場でのバーベキューや花火をしたり等なかなか楽し3泊4日でした。つまらない文になってしまいましたが、現役のみなさん、そして手伝ってくれた30thの服部さんお疲れ様でした。願わくば冬小屋に来たときもなえな小屋が達者でいますよう。

31st 小屋委員長 増田

平成1年9月4日

妙高PW良かった。小屋の直ぐ近くにこれほどいい山があることを3年になるまで知らなかったのが恥ずかしい。小屋合宿は充実した合宿であった。充実感をひしひしと感じていたのは自分だけだろうか。

31th 松尾

平成1年9月4日

今度来るのはいつになるだろう。 31th 松田

平成1年9月15日

今日から3連休です。一人でふらっと寄ってみました。それにしても今年同期が他に2人も来ているのはビックリしました。来年から30th藤尾さんと一緒に仕事します。彼にはカワイイ彼女がいることこの日誌で知りました。そのいち合わせてもらいます。

PS. 竹ちゃん元気、今年の冬一緒に滑りましょう。

PM 9:40 26th フジ原

平成1年12月21日

冬小屋シーズンが始まった。例年に比べて雪の降るのが遅く、妙高国際第1リフト、第2リフトがともに運休であった。私32nd八重尾はスキーのできない副将、33rd鈴木と、5時間もかかってこの小屋にたどりついた。9:15五八木荘をでる。(あとで気がついたので、鈴木が鞆箱の上にかぎを忘れてきた。) ロマンズリフトをへてゴンドラに乗る。連絡コースが閉鎖されていたのでダウンヒルコースをつかってパノラマグレンデに出る。ザックを背中に、両手にスキーを持ちグレンデを登る。暑い、汗がふきだす。しかしキックステップのよい練習になった。鈴木、何度もボーゲンを試みるが転倒。あきらめて歩く。私はJバーに入ってスキーで雪をかためる。13:00鈴木が間違っ

トにつく。林のむこうに小屋wからずスキーをはいて入っていったが、新雪に足をとられて断念。荷物をおいてラッセル。14:00小屋に着く。そこからワカンを取り出してもどる。ツボ足とワカンの練習になった。鈴木がつかれているのと、新雪がすごいので滑落停止訓練は中止した。当初の予定では9:00にリフトに乗って10:30小屋着。ツボ足、キックステップをやって昼食。午後キックステップ、滑落停止訓練やろうとおもっていたので、ほぼ目的は達成できたように思う。むしろむみ固められているグレンデで聞くステップの練習が出来たのは最高の気分である。明日になれば第1リフトは動き出すそうだが、第2リフトが動き出すのはまだ未定である。早く運転を開始してほしいと思う。それと去年の夏から問題になっていた柱は修理されていた。(戸袋は修理されていない) 高瀬へ。キックステップとツボ足とわかんをやった。滑落停止訓練は新雪が、しまってからにしたほうがいい。

平成1年12月22日

ケチのつけはじめは朝時計を忘れてしまったことだ。サンアントンにおみやげを持ってギャルと友達になったまでは良かったが……。高速第2リフトが動かないので、まだ金をケチって一日券を買い、杉ノ原ロマンズリフト→第1リフト→第2リフト→第3リフト→連絡リフト→Jバーと帰るはずだった……。1回ひととおりながして40分。ひではるのことを考えて+20分もあれば充分だと思っていたのだが……。

3時にサンアントンに乗る約束をして、出発したのはよかったのだが、1/5までサンアントンでバイトするという姉ちゃんと(名前を聞くのを忘れた)一緒に行くことにした。スキーを始めて3日目の彼女はなかなか腕前であったが、スピードが遅かった。しかし判断が甘かった。自分に対して、大きく反省し、今後2度とおこわないようにしなければならぬ。第3リフトの人間は冷たい。まだリフトが動いているのに「4時に終わりました」といとも簡単に答えてしまう。今日はナイターもなく、最悪の場合第1リフト(国際)に乗り、歩いて帰ることも出来なくなってしまった。結局サンアントンの人々のご厚意で小屋までスノーモービルに乗ることも出来たし、スノーモービルを使っ

ての雪上スキー(?)もやらせてもらった。最高におもしろい。ただ時々急激に引っぱられるので女性にはおすす

福の様な女の子だそうです。

3 2 r d 八重尾

平成1年12月22日

昨日小屋に入り本当は明日帰るつもりだった。でも小屋も今のところそんなに寒くないし、冬小屋に来てからあまりいいこともないので1日延ばそうかと思いついてしまった。こんなに雪を目の当たりにするのは初めての様な気がする。とにかくきれいだと思った。寒ささえなければ一日中眺めていても飽きないだろう。明日、小屋へ歯家得人達は今頃上野駅でびーるでも飲んでるんだろう。明日からはにぎやかな小屋になるだろう。今日初めて小屋に来て晴れた。朝日に輝く雪、妙高山は現実のものとは思えなかった。

もう1日遊ぶか(遊べるだろうか?)仕事をとるか!? サンアントンのお兄さんはとても新雪だった。なんとなく雰囲気の時任三郎:24時間戦えますか!! ビジネスマン、ビジネスマン J a p a n e s e ビジネスマン、に似てると思ってしまった。夏道についているスノーモービルの跡は五八木荘の人の小屋に人が入ったときのものだと思います。(昨日はなかった。) YWVの小屋までのものは今日送ってらったときのもので、歩きやすくなったのをサンアントンの人達に感謝して歩いて下さい。機械化時代の到来でしょうか? まだ、P M 1 1 : 3 0 ですが頑張ってる起きてます。気もしないので寝ます。また明日残るかどうかは起きたときに決めることにして。ふーっ。またあとで・・・。

おはようございます。結局今朝は12時頃寝てしまいました。で7時頃起きて今朝食を食べていたところですが・・・。嫌いなものがないので全部食べました。外はガス、前の見えないスキーもまた楽しいものなのでしょうか。

平成1年12月23日

八重尾——。お前もえらくなつたなあ、えー。サンアントンの一件は大御所を大激怒させてしまったぞ。大御所のしたっぱ

平成1年12月23日

ケーキ持ってきた、あ一つかれた。おかげでポール落としちゃった〜誰か取りに行つてよ。

3 1 t h I t o

考えてみると現役としては最後の小屋になる。計9回訪れた訳だが、まだまだ来たりない。でも次回は小屋だろうな。できれば高妻に行くときにでも寄りたい。いつになるかわかんないけど、高妻、乙妻には学生の内にゆったりプランでいきな一と思つたりする今日

この頃。皆様はいかがお過ごしで・・・失礼。もういいや書くのは。アラームは何度聞いても新鮮な感動をうける(目覚ましの事じゃないぞ)

3 1 t h I t o

平成1年12月23日

今日も一日スキーをした。3日前よりかなり滑れるようになった。最後に高速リフト第2に乗って雲の上に出たときはなにかわからないけれど嬉しくなった。今夜は星もきれい。まだ小屋に残りたい気分だけれど、帰らないとバイトの口がなくなってしまうのでしかたがない。また近いうちに遊びに来たいと思う。合同執行部のこれから小屋へ入る人達へ。雪上歩行は考えているよりもかなりきつと思いますがケガをしないようにして下さい。

雪ニモ負ケズ 寒サニモ負ケズ

3 3 キ すぎ

平成1年12月24日

サーイレントナイト ホーリーサイト 今日クリスマスイブだ。シャンペンあり、ケーキあり、クリスマスツリーだってあるぞ。クラッカーもある。しかし、午前中ずーっとシュラフで眠り午後は伊東の雪かきの手伝いで少々疲れた。

p m 3 : 1 0 岡野

平成1年12月24日

柱は丸々一本とりかえてあった。土台もコンクリートでくずれた部分を塗りなおしてある。またその辺りは板と棒で支えてあった(赤でかいた所)。除雪の際は要注意。今日ほっておいたので雪が積もりすぎないうちに見とくように。また、雪が解けたら梅雨入り前に防腐剤を塗った方が良さそう。増田、6月初旬に一緒にこよう。

3 1 s t I t o

平成1年12月24日

1 0 : 2 0

クリスマスパーティーが終わりろうそく前にみんなでだべっている。パーティーの時は八重尾は「体の調子が悪いからアルコールはちょっと」とシャンパンさえ飲まない。その割には良く食う。来ない人(あそーさん)の分チキンは食うわケーキは「3人分食ったよ」と福島に自慢するわであいつは相変わらずである。今夜は何時に寝るのだろう。昨日はAM 2 : 0 0 だった。

おかの

平成1年12月27日

だー！！土生です。このノートにはまだ書きたいことないけど他の人がいろいろ僕のことを書いてくれているので、名前を知っている方もいらっしゃるでしょう。この間の追いコンでO. B. となりましたが、また今年も12月23日から来ています。本当は卒論が忙しいのですが小屋を愛する一部員としての意地（僕はそれを“男気”と呼んでいる）で、また早々に小屋に入りました。現役で最多回数、泊数を誇っているのでもうなにも仕事をしないでいい神様になっています。今回からXCスキーも始めました。卒業後もあそびにきたいと思っています。

30キ 土生達也

平成1年12月31日

紅組優勝、今年後11時45分、除夜の鐘を聞きます（ラジオ）。昨日10人が帰り急に寂しくなるのかと思ったけど今は9人で年越しそばを食べています。年越しメンバーは25キ高橋さん、28キ梅田さん、29キ関さん、船本さん、30キ笹倉さん、山田さん、31キ松尾、そして梅田さんの後輩で土生さんの高校の時の同級生でじいさんの友達という杉山さんと弟さんと楽しく過ごしています。現役部員は自分一人だけなので使われまくっています。さっき12時の時報が鳴りました。笹倉さんの初ヌード（今回は下も）なんか見てしまい、見たくもないものを見てしまったことを後悔しています。

今年も最初に会う人があなたであるように・・・とユーミンのHAPPY NEW YEARを今聴いていますが、私の場合は上記の8人です。

1989年はどんな年だったのか、今年一年はやはり心に期待する物があります。90年代、10年後の虚位の今頃はどうなっているのでしょうか。その時は31歳。とにかく今は4ヶ月後に22になることが気になっています。いい加減にしなければならぬこともあります。小屋日誌90年代の最初をこんな文章にしてしまいました。皆さんにとっても良い年になることを願っています。

31期 松尾真治

長年の悲願であったカップラーメンを食いながらゲレンデを滑るのをいよいよ決行する。でもころむかもしれないから一応朝食をとっています。

平成2年1月3日

AM 7:30、25秒

今日で8日目、あっという間の一週間でした。今シーズンは12/31ころから新雪が降ってスキーのコン

ディションは上場だった。あと1カ月くらいひよってほしい気がするが、まあ次は春のお楽しみにしましょう。

今年目標

1, 脱ゲレンデ 2, 剣に登ること（ピーク3度目）
3, 剣に乗ること（寝台車） 4, 10kgやせること（とてつもない計画）

30th 笹倉

平成2年1月5日

あっという間の10日間でした。そろそろ下界に戻ろうかと思えます。この苗名小屋にはまだつぶれてほしくない。まだまだ頑張ってもらいたいと思えただけでも良い冬休みでした。ただ当初の予定と違って自分の中で現実逃避の場としてしか位置づけられなかったのは情けないものです。次は春にきます。その時にはY. W. V. オリジナルカレンダーを持ってくるのでどうぞ使ってやって下さい。

増田へ、燃えるゴミは温度計の下にかためて置いてある袋全部、生ゴミは「燃えるゴミ」と書かれたところの箱の前の黒のビニール袋、宮崎さんのウォークマンとスピーカー忘れずに持って帰って。木村もみじまじゅうぎちそうさま。原、沢山もらって帰るよ。

31期 松尾

平成2年1月6日

新年あけましておめでとうございます。宮崎と茅野で別れて1人で来ました。途中12:00頃サンアントンによったものの誰もいなかったの、小屋に1:00頃入ったのだが、だれもいない。本当に今日小屋に人はいるのだろうか。正月は宮崎君と北八ツ岳にいておまして、その山行ではセパレーツ上下のスパッツ、オーバーミント着用の完全装備で寝るときもこの姿だったのに、今日は山シャツとセパレーツだけで大汗をかいて小屋まで来た。ここは本当に暖かい。しかし、早く増田達もどってこないかな。ひまだ。

OB（元30trh） 下出

平成2年1月8日

AM8:00 気温-7℃ 天気快晴

残っている食、モチ、ラーメン×3、かま飯の元×1、カレーのルー×1、そば×2、御茶付けの元、きなこすべて米びつの中に入れてある。早く食べるように。昨日は1人で泊まった。静かな夜だった。小屋で一人、何か思わん。春にもまた来たい。

下出直孝

平成2年1月27日

去年に引き続き、1月下旬の除雪作業をした。今年は経済の就職が遅い為、参加した訳だが一週間降りっぱなしで雪の量が異常に多い。んで、去年の春小屋同様足がつってしまった。相変わらず寄る年波には勝てない私である。

再建の話しがちやこちやと進んでいるがこの古^こ屋もまだまだすてたもんじゃないと来るたびに思ってしまう。執行部は引き継ぎしちゃったけど小屋の仕事は引き続き増田とやるつもり。もし再建するならログハウスがいいなあと思ってしまう今日この頃。さむくて字がかけねーよ。かいてるけど。

31th 元小屋委員 伊藤明広

平成2年1月28日

今、AM6:50頃です。一人で仕事してます。(冬小屋ではよくある風景)昨日は生まれて初めて雪かきをしました。雪の多さには驚きましたが、楽しかったです。何十年もYWVの人達がこうして毎年雪かきをしているおかげで、小屋があるのだと思うとまだまだこの小屋には頑張ってもらいたいと思います。次は遭対合宿3/5にまた来ます。

平成2年1月28日

帰ろうと思ってもあいかわらず雪が降っている。雪の降る中を下まで歩いてというのがマジでつらいいろいろのに……。考えてみれば雪のある時期、スキーを小屋に持ってきたことがない(雪のない時期もないけど)歩いて小屋に入り、4~5日いるなら誰かのかりて1回くらい、帰りもまたまた歩きというパターンが多い。ワングルに私が滑るのを見たことがない人が多いわけだ。結局スキーは買わずじまいでワングル3回目の冬も過ぎてしまう。それも又よき哉ってもんだと思うのもそろそろ……。ちなみに下から通して歩いたのは4回目なのであった。30th宮崎氏いわく「おまえもジギャク的なMだな」土〇氏じゃねーんだから。とにかく帰ります。

○生さんごめんなさい

31th Ito

平成1年1月28日

今回は長期の休みを利用し(長野県の小中学校には寒中休みというものがある)友人のイラストレーター磯君と共に入りました。ここ数日の豪雪で小屋が埋まっていたらどうしようと思っていました。現役の方々雪下ろしをしてくれたようで、苗名小屋は大丈夫のよ

うです。ごくろうさまでした。今回はテレマークスキーで来ました。していても、急斜面でもへっちゃらです。第一リフトの下からサンアントンまで直登してきました。明日は磯氏と共に京大ヒュッテまでハイキングに行つて来ます。

26キ、ガメ原、川辺、なつかしい名前を前のページで見つけました。(大村君も!)みんな元気にしているか〜い?おどろいたのは25キのミッチが正月に入っているという。すごいですねー。ガッツありますねー。私も来るつもりでしたが、都合で来れなかったんです。ミッチコちゃんごめんね。

25キ 竹内

平成2年1月29日

今頃経済のやつらは卒論を必至に清書していることだろう。提出期限はあさってなのだ。そういう私も経済4年だが雪かき隊として12月23日~27日に引き続きやってきた。こうやってのんびり生きていいの。いいのだ。27日に小屋に入る前数日は大雪で信越線も不通になった程だった。ゲレンデスキーおよび徒歩で小屋に来た者はラッセルが大変だったが、テレマークスキーでやってきたわたしはせいぜい足首までしかもぐらず、新雪時の移動手段としては絶大な威力を証明した。27日は12字からリゲインを飲んで雪かき、28日はこたつで寝ていて、突然ガラッと戸が開いたので反射的に飛び起きたらそこに立っていたのは懐かしや1年ぶり再会の竹内さんだった。今回は友人の磯さんともどもテレマークで小屋に3台のテレマークが並んだ。これはおそらく小屋史上初の快挙に違いない。今年は4月から5月にテレマークを利用して火打に登りたい。その為にはしっかりしたスキー技術が必要なんで、またそれまでには小屋を使って練習しよう。春また来よう、じゃあね

31th 増田

平成2年1月29日

PM7:00。昨日小屋に入りました。ワタクシ部外の磯というものです。12月27日~1月30日無理矢理仕事の調整をつけてやってまいりました。25キの竹内ビッグティーチャーに連れてきてもらいました。竹内ビッグティーチャーはワタクシにとってテレマークの先生なのであります。生まれて初めてテレマークというものをやまして、この小屋まで来てくやっけてまいりました。いや〜なかなかかむずかしもんですね。竹内ビッグティーチャーは1989の夏、北海道で出会いました。それ以来おつきあいさせてもらっています。そして今回竹内ビッグティーチャーにそそのかされてテレマークスキーを買うはめになり今に至っているのです。このような小屋は初めてなのですが来る前

に思っていた印象とだいぶ違っているのでおどろいています。まず第一にとても清潔な所だと思いました(自分の生活を基準として) ふとんもたっぷりあるし快適快適!東京の生活では(自分だけ)冷蔵庫もないしふとんも毛布も1~2枚でだけ、すきま風ビュービュー。この子やのほうがあったかく感じる!こんなこというととんでもないところに住んでいるように思われそうだけどごく普通の平均的なワンルームです。見た目はまあまあだが、建造物としてのつくりがいかげんと申しますか。とにかく快適空間ですね。ここは、今年も1カ月レベルの休みを2回ほどは取りたいものです。それにはがんばって働かなくちゃ!がんばろうっと!それと現役の宮崎さん、増田さんいろいろどうもありがとう。あさってから仕事だ、がんばるぞーーーっ! S37年生まれで中野区在住の磯良一でした。チャンチャン。

平成2年2月3日

東京が大雪だったので、小屋は大丈夫だろうかと思って来てみたけれど、トレースも少し残っていて思ったより簡単に小屋に入れた。小屋の屋根の雪もほとんどなく本当に驚いた。先週、雪下ろしを現役の人達がやってくれていたんだね。どうもご苦労様でした。お陰で今晩は非常に快適に過ごしています。最近、小屋でテレマークスキーが流行っているようだけど、山スキーもなかなかいいものだよ。24キでは丸山、岡田、と僕が持っていて簡単なところを年に1度くらいは滑っています。5月の妙高火打あたりは、なかなか楽しいですよ。荷物を持って行動できるので、1日かかりで登って一気に下りて来る快感を味わうことができる。ただし荷物を持って滑ることは出来ないの、今は日帰りで楽しんでます。今日はアルペンスキーで来ました。明日は赤倉でも行ってみようと思っています。

24キ 早川

平成2年2月4日

昨日彼女にふられた早川と小屋に入りました。2年ぶりの小屋なので飲み明かそうと思ったのに不覚にも20:00に寝てしまい、今起きたら10:00だった。今日は赤倉へ行って新しい傷手ビシビシ滑ろうと思ったのにこれでは、サンアントンへ寄ってビール飲んで帰るしかない。しかし野郎2人の小屋ってのはしょーもねーもんだ。今年の年末は冬山に行くのをやめて小屋に来ようかと考えている。もう体力もなくなってきたし、現役のお世話になって小屋で遊びたいもんだ。酒くらい持ってくるからよろしくお願いします。

24th 丸山

平成2年3月11日

金はないのでせめて時間くらいはぜいたくに使おう。のんびりと小屋で過ごそうと思い小屋にやってきてはや10日目になろうとしています。雪上ツアーエスケープは残念でしたが、なかなかおもしろい日々でした。スキーに関しては山スキーをある程度グレンデで練習しておかなくてはと思いつつも昼すぎになると疲れてその辺に腰掛けるかサンアントンに行くか、小屋に帰るかであい変わらず1日券無駄になる事が多い私のスキーです。しかし宮崎産(30th)のテレマークを見て、自分もかかとを挙げてテレマークターンをやってみたが、あれはおもしろい。曲がれるようになるまで苦労したがターンができると実に気持ちの良いものです。宮崎産のテレマークスキーが少しうらやましくなります。

今晩は増田と2人で先ほどから強くなり始めた風の音とブタピカのガスの音以外何も聞こえない久しぶりに静かな夜を過ごしています。明日の晩横浜に帰るつもりです。32, 33期の皆さん、合宿中にお邪魔して悪かったね。でも追悼会とか色々いいものを見せてもらったり、楽しませてもらったりどうもありがとう。次はいつここへ来ることになるのかな。秋頃にドライブに来てみたい気もするけど……。それではまた。

31st 松尾

平成2年4月1日

3/11に続いて松尾です。苗場山のスキーの帰りに寄ってみました。昨日の苗場山は強い風と雨でピークまでいけず引き返してきましたが、初めての山スキーなのでやることすべて新鮮でおもしろかったです。真っ白な稜線をシールを付けて登ったり、誰も滑っていない斜面を吸い込まれるようにして滑ったりしたことは忘れがたいものです。今日の妙高国際グレンデはもう下半分は滑走不可能で第1高速リフトも動いていません。杉の原も同じで、結局途中から歩くか一番上まで言って下りのゴンドラに乗らなければ下まで戻れません。今日は天気も悪いのでサンアントンに寄ってさっさと降りて妙高温泉にでも行って帰ろうかと思いません。

31期 松尾

平成2年4月30日

今日は松尾さんの誕生日だそうで22歳おめでとございます。のりくらはどうだったのでしょうか。伊藤さん五八木でもらったたくあんと残ったビールをおいでいきます。

33キ 鈴木

平成2年4月30日

伊藤へ なんでもねえ 31th 増田
じゃあね OBと仲良くね!

平成2年4月30日

快晴。じゃあ。伊藤さん お元気ですか?
32キ タカセ
陽水のマネじゃあねーだろうなまさか!!

平成2年5月2日

曇り。おおお。高瀬、元気ですよ。なんだかいきなり交換日記みたいな書き出しになってしまった。4年にもなってなにやっただろうオレ……。只今7:20。ストーブに石油を入れ、フトンを敷いてひと息ついたところでこれを書いている。はいってまず目についたのが一部乱雑につんであるフトン。次に隅っこにころがっているパイの袋と大量の綿ゴミ。極めつけはフタがあきっぱなしの米びつ。アイツらなに考えてんだ、とブチブチ言っていると“伊藤SAMA”と書かれた紙袋が目についた。中にはビールと食べ物。あ〜りがたや、ありがたやあ・私がかたづけといたよん。笹ヶ峰まで行くバスは6/10からとゆーことで杉ノ沢までバスで来てそこから歩こうかと思った。が、夜行明けでこんなことできるほどのパワーも根性も昨年のL養で枯れ果ててしまった。私は財布と相談してタクシーで小屋まで来ることにした。代金3100円也。小屋に一人で来るもんじゃねーなと金を払ってしみじみ思った。 P. T. O.

故に(?)五八木のおじさんのところには寄っていない。25thの人が寄ってくるんじゃないのかな、たぶん。ウワサ通り本当に来ればの話だが。ところで井戸のフタの穴をふさぐととんでもないことになるゾイ、ゾイ。とりあえず横浜で買い込んできた食料がつきるまでいようかと思う。何の為に一人で小屋に来たかは、追いコンの打ち上げのときにでも語ってあげよう。

31st Ito

やっば、寒い〜〜〜〜〜〜 31st Ito

平成2年5月2日

ドラム缶に石油がない!!夜はまだまだ寒いというゆーのに……。も、帰ろかな。ウソだよ〜ん、石油はホント。河上、専用メンツ持ってきてくれてThanks.

31st Ito

平成2年5月2日

前号の小屋日誌をみた。最後に書いているのがナンと2年の時の私であった。大笑いする程臭い文面。あのころは若かったなあ、ふう。。。。。

平成2年5月3日

話す相手がいないとついペンをもって日誌に向かってしまう。ラジオに向かってブツブツ独り言をいったり怒ってたりするよりは良いと思う。

今朝仙人池でカルガモのつがい、昼には笹ヶ峰牧場でツグミのつがいを見た。発揚期のこの時期はつがいでの姿をみかけることが多いそうだ。ついでに年中発情期の人間のカップルも(含:♀&♂、♂&♂のみならず)よ〜みかけた。快晴の休日ともなれば当然だろうが、それにしても雨と予想されていた今日はこんな良い天気になるとは嬉しい誤算であった。

P. S. 増田へ、良い情報がはいったゾ

31st 伊藤

平成2年5月4日

3日目の夜になって気がついた。米びつの周りでねずみがガサゴソとうごきまわるのは19:10きっかりである。本当は19:00と決めているのだが、住みついている小屋がワングルの小屋であるだけに、部会でもなんでも集合、開始が10分程遅れるワングルタイムがここのねずみにも染みみしているためだ。と大胆な仮説を立ててホクソ笑みつつ3日目の夜は更けていくのであった。あ〜あ

31期 いう

P. S未だ25thの人々は来ず。

平成2年5月5日

持ってきた「後宮小説」を読んで過ごす。かしわもちが食べたい。

31キ イトウ

平成2年5月6日

一通り掃除を終えたところです。天気がいいのでまた笹ヶ峰まで行ってこようかと思ひます。そういえば5/3に採ってきたキノメやコゴメは大変おいしかった。とりたての旬の味は何物にも勝るものです。やはりきて良かった。夏小屋の時ひよっとしたら5月下旬にまたきます。一人で2ページもつかってスママセンね。

31期 伊藤

P. S.アスファルトを突き破ってのびてきた竹の子をみた。なにやら感動。高妻、乙妻はやっぱり格好いい。是非一度。。。帰ります。

平成2年5月25日

昨晚11時に部屋を出た。

鈴木秀治(33rd)をそのまま小屋につれて行こうかとしたが「いやだ〜」と泣き叫ぶので東京に置いてきた。小屋に着いたのは朝6時、外はガスってる。とにかく伊藤におそわれないようにきをつけるぞ! あーショック戸袋直そうと思って持ってきた板、はめてみると2cmほど幅が足りない。全くよお。

平成2年5月25日

性懲りもなくまた来てしまいました。今回は梅雨入前の小屋整備の新しい柱の防腐剤ぬりと雨戸の戸袋修理。新緑の笹ヶ峰はやはりイイ。留守本(新練二次)の人達の分まで楽しんで帰ろう。

31st 伊藤

平成2年5月25日

柱の防腐剤ぬりと雨戸の戸袋修理完了完璧!

よって 名誉小屋委員長 31st 増田高康

名誉小屋委員 31期 伊藤明広様

仕事も終わり小屋周辺を散歩する。ワラビが食べ頃だったのでひと握りほどとってきた。今夜もまた、旬の味が食卓を飾る。小屋の生活の良さを実感。

31st Ito

平成2年5月27日

昨日は戸隠、黒姫高原に行ってきた。ここにきて、小屋に仕事しにだけできてすぐ帰るのは大馬鹿者だとしみじみ思った。初夏や秋は最高だと思うので、余裕をもった日程で小屋に来て是非一度は訪れてほしい。途中で留守本している松尾に電話して自慢してしまった。高気圧に感謝。

新練二次はどうなってるだろう。今日は一年の歩荷日、元気でやってるだろうか。昨夜の雪は大丈夫だっただろうか。などと心にもないことを書いててもしょーがないからもう帰ろう。今回は苗場をまわって小諸から小海線沿いに行こうと思う。増田がそっちいこうと泣いてたのむのでそうすることにした。今日も天気がいいから、苗場や浅間、八ツ、南アが綺麗に見えることだろう。男二人じゃなかったらもっと最高なのに。

31st Ito

平成2年8月1日

旅館の帰りだ? 一泊することにした。なぜか食べ物がおいてあった。水くみまで車でいった。なかなか古びたこやデスねえ。たたみはよごれていたり、さびてたり、クモがうじょうじょいたり、イヤデスネえ。星は

みえるだろうか。日誌をよんでいたせいか、古いあのものおきを思い出してしもうた。やっぱりすずしいくらい部屋です。番ちよーがいたら楽出来なかったでしょうねー。スキーツアーのこと旅館で聞きました。本当にありがとうございました。そ父とそ母の二人を残して五人できました。春に来よう? それとも冬がいいかと考えこんでいます。何だか大草原の中の小さないえみたいにも見える初めて山小屋に泊まったのだろうか、周りは林と小さな小屋が2つ。やそうばかりの所です。ちょっと楽しいウグイスの声もきこえてきました。おもしろかったですよ。夜は星見れるといいですね。ではさようなら。(3年9才 娘のまりこです) 12期の山下です。ちょうど10年ぶりにこの山小屋をおとずれました。この山小屋が出来た年の一年ですので、特に愛着があったのですがいろいろな世のしがらみで10年も来ることが出来ませんでした。この10年結婚もし、子も3人が生まれ、私が青春時代に経験した山小屋の生活を1日でもいからこの3人の子供達に経験されたくまだ早いかなと思いつつつれて来ました。幸い、3人は父親の作ったカレーライスを「うまい、うまい」と食べてくれ父親の幸せを感じている所です。

平成2年8月13日

久しぶりに小屋へ来ました。うらの雨戸をあけて入り込みました。家族三人づれです(夫、子供、良平3才)。昔とかわらぬ匂いにほっとはしたが、このノート全然しらない人ばかりで月日のたつのをかんじました。又いつか、これますように。現在横浜市立下和泉小の4年担任です。

19th 小松真弓(旧姓中村)

平成2年8月30日

今年も夏小屋が無事終わった。天気も良かったので仕事も予定通り終わらせることができた。春小屋ならまだしも、夏小屋の後残る人も少ないだろう。木村は今日急行妙高で帰るといっていたが結局泊まるはめになり今は寝ている、、当分酒は飲まないそうだ。明日の朝は4時に起き、駅まで歩き7:16の列車に乗るつもりです。直江津で海を見て帰ります。今度は冬小屋、雪をかぶった小屋をみるのが楽しみだ。ついでに早くスキーがしたい。では、また。

妙高PWメンバーへ、天気予報では、9/23, 24の妙高は大雨だそうです。でも雨にもめげず気を付けて楽しんできて下さい。ちなみに奥秩父地方はド快晴
○ 33キ鈴木

平成2年9月23日

上の鈴木の記事を読んで大笑いしてしまった。9/22、23 妙高は鬼晴れ。奥秩父は5日間台風19号の影響で中止。故に……。

金峰、瑞籬の平メンだった私は今ここにきている。今回は駅から小屋まで2時間かけて歩いてきた。何故そんなことをしたのか本人も理由を知らぬ。唯……。駅から2ピッチで来るほどの気力と体力がまだあるのだなということにほくそ笑んでいる。

31st Ito

平成2年9月24日

1年ちょいぶりの山小屋です。今回は次の4名で参りました。22キ 鴨志田 岳志

24キ 鴨志田

友人で武蔵野美術大学W. V. O Bの市川重範氏、市川久子さんです。

22日(土)の夜新宿を発ち、23日(日)未明2:00頃、苗名小屋着、仮眠のあ 23日(日)朝から火打山(高谷池経由)をピストン日帰り、湯型苗名小屋泊。24日朝、帰途につきます。

誰か現役かO Bが来てるかなあ、とは思っていましたが、火打ちから戻ったら31キイトウ氏が、小屋の1階で寝ていてちょっとびっくり。ちょうど妙高P. W. があって現役の人達も来るかもしれないということで、待っていたけど、全然来る気配無し。もう帰ってしまったんだろうと思っていたら、10時近くかな、突然ガラリで、またまたびっくりです。

今回一緒に来た市川さんご夫婦は奥方が私の前の会社の同僚で何でも武蔵美の山小屋が移築中とのことで、はるばるお連れした次第です。大学が違って、共通することは多くあり、面白い物ですね。山小屋再建等、もし資料とか要るようでしたら、参考になるかもしれませんね。

さて、火打山は現役1年の女子Wで1980年に来て以来、4回目でしたが、空きは初めてで紅葉の美しさにびっくりでした。高谷池と天狗の庭はほんとに何度来てもいいところ。このあたりは中高年登山者、それもやたら女性が多いのが目立ちますね。火打ちのピークは日本海側がやはりガス。

現役の皆さんを見ているとよしよしワンゲルも頑張っているなってというのが、ひしひしと伝わってうれしくなります。またお世話になることもあるでしょうが、ひとつよろしく。それではまた、そのうち。

24キ 鴨志田周子

平成2年9月25日

時期的に早いから紅葉の笹ヶ峰が見れなかったのは残念だったけれど、ナナカマドの赤い実の色どられた小ピーク(展望台)からの眺めは絶品だった。秋の小屋もまた素敵だ。

鴨志田さん市川さん、妙高PWのみなさんごちそう様でした。23日の晩は楽しかったです。いつの日か、また来ます。

31期 伊藤明広

平成2年1月31日

横浜から一人バイクで来ました。寒い。体中がふるえる。寒さのせいです。そう寒さの。決して真夜中に一人でいるせいじゃありません。外で物音がしている。……ここから一番近い人家まで何分かかるだろう。ちょっと後悔している。

31th 竹沢 智

平成2年1月4日 雨

上越市より来ました。メンバー、オヤジ、カアチャン、娘3人(小5、小1、保育園年少組)

これより乙見山峠を車で越えて、小谷温泉に漬かりに行く。ドライブのみで山歩できず残念、紅葉はきれいだね。スカイライン30周年号全部読んだ。楽しかった。

鈴木道夫 14期

平成2年11月9日 あさ8:00

はじめて小屋に来ました。部外者です。ジイさんの友人です。ジイさん他5人で今朝着きました。

うわさには聞いていたものの、まだ11月初旬だというのにこの寒さ!!ペンを持つ手がこおる……。

「夜のさむさは、こんなもんじゃない……」そういわれてもさむいものはさむい!!

でも、こんないい小屋だとは思わなかった!

1泊だけですが、お世話になります。

31期ジイさんの友人 寺見

平成2年11月10日

一人でしんみりと、妙高山でもやりながら今後の身の振り方でも考えようと思っていたがなぜかオマケが4人もついてきてしまっていた。ゆうべはひどい雨で……学園祭のカレー屋はもうかっているだろうか。来年もこの時期に来てみたい。

31st まつだ

平成2年12月22日

去年初めて冬小屋へ来てから、ほぼ1年降りに再び冬小屋へ来た。本当は25日に来るはずだったが、どう一しても早く来たいという思いが抑えられず、早々と今年も先発隊として来てしまった。

去年自分がこの小屋日誌に書いた文を見て少し驚いた。今、読み返してみると自分で書いた物だとは思えない気まです。この1年で知らず知らずのうちに、いい意味では大人になり、悪い意味では純粋さを失ったように思う。これには合同執行部の中の一執行部員としてやってきたことが影響しているのだろうか……。それはそれとして、昨年に引き続き今年の冬小屋も運が悪い。まず一つ目は第2高速リフトの上まで行くのに3回もこけてしまった。ついでに空荷で、第2高速リフトの乗り場の手前でこけはずれた板がこめかみにぶつかり流血をしてしまった。おまけに診療所へ言ったら消毒しただけなのに1880円も取られてしまった。もう一つおまけに時計が、1時間半も進んでいたの、3:30に待ち合わせした福島が、4:30になっても来なくて事故にでもあったんじゃないかとしなくていい心配をしなければならなかったこと。とにかくついていない。も一帰ろうかなとも思うけど、やっぱり夜、降りしきり降り積もる雪がみたい。あーあ、今年は何日に帰ることになるのやら……。あ、まだあった。なんと練炭を入れる入れ物が上下に割れてっついて使えないことはないが、空気こうなんておかまいなしのいつでも全開バリバリ状態で暖かいのはいいけど熱いのは困る。ただ、今9:30pm。いつもなら目のパッチリ開いている時間なのに夜行明けでスキーを1日中やっていたため眠い。

というわけで今日のところはおやすみなさい。

33キ 鈴木

平成2年12月23日

昨日の夜中から降り出した雪が今日も続いている。小屋日誌をつづけて書くのはなんだか日記をつけているようだ。日記といえば、まあこの話はやめておこう。昼過ぎから薄日が漏れてくる。そして、杉ノ沢への買い物へ行くと、下の方はすっかり晴れていた。スキー場は下の方は雪がなくかなり土がみえている。第2リフトから上は雪量は全然問題ないが下の方がそんな状態の上連休なので、人が多い。第2リフト乗り場は長い行列ができています。明日も混んでいるだろう。今日は去年から通して冬小屋で、初めて10:00まで寝ていた。去年は毎月のように日の出を見ていたような気がするのに……。現在10:00pm。あまり眠くないけど福島は寝てしまったしすることがないのでもう寝よ。明日は小屋で一日過ごすつもりです。

33キ 鈴木

平成2年12月24日

今日の日中は小屋に来てから初めて雪が本降りになったが今はやんでいる。3日も続けて小屋日誌をかくと本当に日記をつけている気分になる。日記と言えば、

世、なあこの話はやめておこう。いぜんとして福島と2人きり。その福島は朝からスキーに出てしまいはじめ1人の小屋となった。のんびりと仕事でもしながら過ごすかと思わず井戸を掘る。その後入り口の階段を広くしてからワカンをつけて小屋の周りをうろついていた。それからスキーにはきかえてまたうろちよろしている、宮崎産が小屋に来た。1回小屋に戻り昼を食べると、新雪がだいぶ積もってきているのとスキー場もあまり混んでいないと聞き少し滑りに行った。そこで福島と村山に会った。新雪のおかげでけっこう面白く滑って帰ってきた。今日は下の方は雪がないように高速第1リフトは止まっていた。今日は1日小屋でのんびり時間を忘れて過ごすつもりだったけど(時計を見ずに)宮崎さんが来たのと新雪のおかげで結局スキー場へ足を向けてしまった。雪よかしもしようと思っていたが妥協してしまった。

小屋に来てからもう3日が過ぎようとしている。現在4人。明日は3人増える予定だ。初心者3人1年生の滑りが楽しみだ。夜はふけてゆく。今は10:40pm。一応明日が自分にとって今年最後の小屋になる。早起きしなければならぬので今日もう寝ます……。

33キ 鈴木

平成2年12月25日

昨日いったんやんだ雪が夜になりまた降りだしあられになった。その雪も今日の午前中には粉雪に変わり昼には晴れてきた。この雪もほとんどが上の方だけで下の方にはあまり積もっていませんので、今日も第1高速リフトは泊まっていた。今日1年生が小屋入りして全部で7人になった。明日からは急に人が多くなりそうで、やっと冬小屋も活気づいてくることだろう。今晚で今年の冬小屋ともお別れ。明日朝一で帰るつもりだ。4日間静かな小屋で過ごし初めはずぐに帰ってしまおうかと思った。今はのんびりできて良かったと思っている。4日間一番つらかったのは、シュラフにカビがはえていて臭かったことだ。それも今晚でお別れだ。次は春に来ることになるだろう。

33キ 鈴木

・連絡、小屋を最後に出る人は家具とスコップを数本五八木に持って行って下さい。あとかたづけもしっかりお願いします。「飛ぶ鳥後をにごさず」それから燃料関係はできるだけ節約して下さい。

宮本へ、ストックはおいておくので忘れないでもって帰ってくるように。にぎるおところの下にS.Hの字があるやつ。

平成2年12月27日

今日、宮崎(30th) 笹倉(30th) 松尾(31

t h) 久保 (31 t h) と一緒に三田原山に登る予定だったが、暴風、波浪警報発令そのた諸々の事情により中止になった。しかも現役部員を下界までむかえにいった笹倉、松尾がまだ帰ってきていないので (今、P. M. 6 : 40) 多少心配しながらここにいる。学生時代とは違って時間があまりないのにこうしてしたことができないのはとてもくやしいものだ。青春とはうまくいかないものだ。

30 t h 土生

今、名古屋の駒形中学校で教員やっている。

平成2年12月29日 PM 10 : 40

27日に小屋に入りました。夏小屋について2度目の小屋です。こんなに沢山の雪を生まれて始めてみました。よくわからないけど感動してしまいました。自分の知らない世界ってまだまだたくさんあるな一と思いました。冬の小屋は何か妙に落ち着けます。私は小屋が大好きになりました。いつまでも建っていた欲しい。頑張り 苗名小屋!!!!

今、土生さん宮崎さん松尾さんを中心に歌を歌いまくっています。とても楽しい。こんな雰囲気大好きです。

明日には帰ります。90年もうすぐおしまい。来年はきっといい年にしよう!

34期 小野恵美子

この文章に、小野さんの素直な心に感動してしまいました。ホントに。素直に感動することが最近ほとんどない。

23キ、ムト、25キ 竹 30キ田中も

平成2年12月30日

今日帰ります。今年の冬小屋は児湯が小屋締めとなかなか早い終わりだったが、26日朝から今日まで楽しい5日間でした。山スキーという新しいことを初心者ばかりで始めようとして、前半は充実していました。三田原山は悪天の為、中止となり、池の峰で雪洞訓練をしてはとんでもないものができあがりそうまくはいかなかったけれど、今後が楽しみです。昨日は朝のんびりと起きて、午前中うだうだとしてその後1人で笹ヶ峰まで行って来ました。私の求めていたのはこのような小屋の過ごし方です。そして今日も1年生諸君が小屋の片づけを素早くすませてゲレンデへ行った後OB、39 t h土生氏、宮崎氏と共にストーブの回りでのんびりとすごしています。何をしてもなくただこうしている時間が好きです。(私の場合、こんな時間の方がはるかに多い、もっと少なくしろと言われたことがあるが・・・) 日常生活におけることについて、山とか山小屋で考えを整理できると土生氏は昨晚言っ

ていたが、私も同感です。冬小屋、春小屋の場合、ローソクの灯とストーブのヤカンの音とギターの音色がそのようなことに一役買ってくれていると思っています。去年年越しをする際に書いた自分の文章を見ると一年間があつという間に過ぎた感慨とまた今年も同じような反省と目標が頭の中に浮かんでくる恥ずかしさがありあます。まあ謙虚さを無くしたらそれでおしまいなのでこれでいいと思ひましょう。

1年生が沢山冬小屋に入ってくれたのは嬉しい気がします。そして昨日まで色々と気苦労の多かった福島には感謝している。福島の仕事に対しては同人ウーも高く評価しています。では、次は1月の終わり頃か、3月にまた会いましょう。

31期 松尾真治

そろそろ出発する準備をしようかと思っていたら30 t h下出氏と元30 t h田中氏がやってきた。なんと下出さんはスキーウェア (白と緑) を着ている。「似あわねー」などと言っては失礼ですね。

平成2年12月31日

上に書いてある通り昨日田中と小屋に来た。男2人の静かな夜かなと思っていた。すると夕方6時頃人の声がある。「Th a t'g r e a t !」英語だ。少し緊張する。だんだん声が近づいてくる。「H o w b e a u t i f u l !」やばい。ここの小屋に来るくらいだからワンゲルのOBの日本人が一人はいるはずだと思ひ、あいさつの言葉を考えておく。はいってきた。あ、25 t hの竹内さんだ。おなつかしや。今度は英語の外人教師でも連れてきたのかと思えば、23 t hの武藤さんだった。この晩はにぎやかな夜になった。夜をあけて朝。今度は29 t h福島さんが現れた。田中も今晚一人で泊まることなくよろこんでいる。社会人ともなれば、ズルズルと小屋に滞在することもできず残念である。武藤さんと竹内さんはテレマークで笹ヶ峰に遊びにいった。福島さんはゲレンデに行った。田中は小屋の中でぼうとしている。私もそろそろ帰ることにしよう。たった一泊だけだが楽しく過ごせてうれしく思っている。それでは、よい年を! (年明け部屋 友垣へとつづくわけではない)

30期 下出直孝

平成2年12月31日 夕 5 : 20

今日はひさびさの笹ヶ峰、そしてテレマークとこちよい疲労感をおぼえています。それにしてもテレマークはもう少し練習しないといかんな。(まだパラレル系の方がうまくすべれる) 来年来たときに竹とカナダカヌーざんまいT r i pを考えています。できれば、たぶん北極圏に近いD o g R i v e rあたりをやりた

いと考えていますが、たぶん休みがそれほどとれないような。ジョーシアンペイ（ヒューロン湖の北部）でのんびり Trip となりそう。

23キ ムトウ

平成2年12月31日 PM 11:55

ここで年を越すのは何回目だろう。今年は静かな年越しです。今年もきっと忙しいだろう。だけどいい年の取り方をしたなーと思う。

25キ 竹

平成3年1月1日 AM 8:00

あけましておめでとうございます。はじめて小屋で元旦を迎えたような気がします。12/30深夜12時半に秩父を出てずっと一人で車を走らせて来ました。12/31早朝5時駐車場着。一眠りして8時ゴンドラにのって小屋到着。Jバー乗り場から小屋までのきついこときついこと。こういうときに体力のおとろえを感じます。昨日はよくすべりました。昨夜は紅白歌合戦をききながら武藤さん竹内さん柏木さん、田中、そして関、関の友達の計10人で過ごしました。スキー場の雰囲気は5~6年前と比べてだいぶ変わったけど、小屋とサンアントンのおねえちゃんがかわってません。ほっとしてしまいます。冬休みは2週間この小屋スキーをはさんで前は草津、後ろは滋賀に行く予定です。教員てのは休みが多くていいねえというところほかに教員やっている人におこられそうです。

小屋で現役の皆さんにお会いできなかったのが残念です。武藤さん竹内さん同様、小野さんの文章に感動してしまいました。素直に感動する心はいつまでも忘れたくないですね。

最後に、関君の要望にお応えして連絡先

〒368 秩父市日野田町2-23-5-104

Tel 0494-25-1889

29期 福島昌彦

平成3年1月1日 AM 8:30

はじめての冬小屋でしかも年越しであったのですがとてもマンゾク。本当に前の小野さん同様単純に純粋によかったなーと思っています。

元 39期 田中

いやお前の目にはごっついる。

30th 土生

平成3年1月2日 PM 10:10

今日は柏木と2人だけの小屋泊です。

6:00から酒を飲んでいるのですが柏木がダウンしてしまい仕方なくうどんをつくっています。それにしても久しぶりの苗名小屋はほとんど変化無く小屋周辺も6年前と全く同じで感動しました。柏木が“ハンダリーなものがないと向上しない”などのたまわっておりましたが確かにここには寒さと共に我々の原点の一つがあるような、そんな気持ちになっています。現役の皆様に感謝します。

25キ 高の

平成3年1月3日 雪 AM 9:00

90 12/30~91 1/3初めて小屋で年を越しました。12/30はいきなり16:00の最終リフトにぎりぎりでお乗り遅れ、サンアントンから2時間かけて歩いてきました。コノヤローリフトのおやじめ！私も何年ぶりのなえな小屋ですが、ゲレンデの様子やリフトは随分変わっていました。それでも小屋の回りは以前とちっとも変わっていません。自分が現役の頃をふと思い出します。今年はずいぶん学部に入學して10年目の年を迎えました。10年ひと昔と言いますが、10年たってもあまり変わりませんねえ。しかし、ワンゲルにはいり山に登った経験はなかなか貴重なものです。この小屋も現役のおかげでよく整備されています。ごくろうさま。今シーズンはできればもう1回、小屋に来たいと思っています。

25th 柏木

平成3年1月4日 天気 雪

明けましておめでとうございます。今年も年明け後の冬小屋に来ました。本当だったら昨日33キ鈴木（秀）と一緒に入るはずの所私めが年越しバイトで風邪を引きダウン。1日遅れの小屋入りとなりました。今回は念願かなって歩いて来ました。下にコースタイムを書く

第1リフト終点→0:15→サンアントン（R1、30分）→ゲレンデ入り口→0:10→Jバー（R2、10分）→0:15小屋（0:55）

一人ラッセルはかなりキツイけどいい運動になった。さて、秀治が帰ってくるのを待つとするか。

PM 1:10 元 33rd 横井

現在20:06 一人でここに居ます。（鈴木は帰った）。一人きりで過ごす夜は今回で2回目です。こんな環境に身をおくと色々なことを考えるものです。今頭の中をさだまさしの歌のメドレーで流れていきます。自分一人の力でこれまで育ってきたのではないということをしみじみと感じています。外はまだ雪が降っていま

す。明日帰ります。ちょっと途中寄り道をして・・・。
星を見る為に来たのに残念・・・。また遭対の前か後、
友達と一緒に来る予定です。90～91の冬小屋も私
が最後の様ですね。34キ、OBの方はパワフルな様
だけれども、32、33キがほとんど来ないのはさび
しい気がします。私の場合、部外者だけれども来年も
年明けの冬小屋に来たいと思っています。それにし
ても今年の冬は充実したい休みだったとつくづく思
う。よく働いたワ、ホント・・・。今回ダイエットの冬小
屋にしようと思っていたが（正月太り）秀治が帰っ
てしまったので持ってきた2人分の食料のため、反対に
肥って帰ることになりそう。帰ったらプールに行こ
うと思う。これは一気に2kgは減らせる。

いかにげん書くこともないので寝るか！！

PM 8:52 H. Yokoi

平成3年1月5日

すっかり出発の準備が終わりこたつでくつろいでい
るところです。外は晴れ、青い空に白い雪、来て良か
つたと感じています。

さて、帰るとするか。AM8:20

元 33キ 横井

平成3年1月26日

小屋の雪下ろしにやって気ましました。
メンバーは32キ八重尾さん、33キ木村さん、33
キ福島さん、34キ影井の4名。冬小屋から1ヶ月も
たってないのに、雪がほとんど屋根の辺まできてい
るのに驚いた！！AM10:00ごろ小屋に着き、入り
口と4本の柱の上、ウラの雨戸の所の雪を除いた。疲
れたー！！

にぎやかな小屋しか知らないオレにとっては4人だけ
の小屋は新鮮である。こういう雰囲気もなかなかえーも
んなあと思う。

まあ、とりあえず雪下ろしに来て良かった。

明日は33キ鈴木さんと33キ原さんが来るようだ。
とにかく小屋がつぶれてなくてよかったし、また3月
までがんばってたつといってもらわんと・・・。

34th 影井

平成3年2月20日

O.B.になってもまだ現役と雪下ろしにきている。雪が
多く昨日小屋に全員ついたのは昼近く、柱と屋根だけ
で一日が終わってしまった。夕方6時頃までやったと
ゆーのに。

今朝起きると20cmも新たにつもった。あ～あ、
朝イチでかえりたかったのに。

それにしても屋根。雪と軒下の雪がくっついて小屋が

すっぽりうもれてるのを見たのははじめてだ。

31st 伊藤

平成3年2月20日

雪下ろしを終え・・・てはいませんがあきらめてこ
れから帰ります。今年は先輩から昔聞いた様な雪状態
でした。遭対に来る、33rd、34thの皆様が、
頑張っって雪下ろしをする姿が目には浮かびます。雷（
ピンク色に見えた）や竜巻きも見れた上、今日は妙高も
黒姫もすっきり見え、満足しました。

32nd 高瀬

平成3年3月8日

今年の先発隊は、3日に来ました。4、5日の合宿、
6、7の雪上ツアーも天気恵まれて無事に終わしま
した。今年は暖冬のはずなのに小屋には去年の3倍く
らいの雪が積もり、とにかく雪下ろしは大変でした。
それdも2回の雪おろしと、今回の雪おろしのおかげ
で、今年の冬も越せそうです。

今、外では雨が激しく降っています。春はもうすぐそ
こまで来ているという感じです。

雪上ツアーが終わってから、今日のまで残っている現
役部員が一人しかいないのは少しさびしい気もします。
忙しいのはわかるけど。

僕は今日で6泊目、去年の9泊からすればパワーダウ
ンようですが、春合宿の準備があるので明日朝一で
帰ります。

33キ すずき

平成3年3月10日

やっと念願の外輪山までスキー出る。雪質は良いか悪
いかわからない変な雪であった。妙高がすぐそばに
せまり、三田原山まで手のとどく所にあるのが1峰（今
日誕生）。そのうち外輪山をすべって赤倉スキー場へお
りるグレンデ予定地は思ったより広がりがあるみたい
だった。去年杉野原国際スキー場（正式名称）は幸か
不幸からビッグなスキー場になるだろう。

そうそう山スキーは滑走性（回転性、安全性）が悪く、
10年前にもどったみたい。時代遅れの板という感じ。
これから用具をそろえるなら、トップがやわらかいゲ
レンデスキーのいいもの＋ツアースキー用バインディ
ングにした方が良いと思う。

30th 笹倉

平成3年3月12日

6日の朝に小屋に入ってからほぼ一週間ウダウダウ小
屋生活を終え、また下界に帰るところです。

平成3年3月12日

去年おとしに続いてまた春小屋最終日下山となりました。小屋の後片付けをして広々とした小屋の中でストーブをかこんでのんびりとするのはいつやってもいいものです。去年の今頃はもう来年は小屋に何日もいることはないだろうと思っていたのに、結局も9日間もうることになってしまった。のんびりと本も読めたし、良い小屋生活でした。さらに小屋の周りがある良い山、自然と楽しんでいこうと思います。

31期 松尾

人がかいているとにとりあげるな！おい！
私の今回の小屋生活を紹介します。
そんなものいらねーよ、誰もよみたくねえよ。

平成3年3月5日

周遊券を買い急行妙高に乗り込む。
昼夜逆転生活をしていたため全く眠れず妙高高原駅につく

平成3年3月6日

バスで杉ノ沢につく。残金200円これじゃリフトに乗れん！郵便局の前で開くまで待って金を下ろす。
小屋到着 おーっ すげえ雪だ。玄関はどこや？

30期宮崎さん

留守本（雪上ツアーの）と一年生数名とウダウダあと31st松尾グーグーねる。雪洞をほったがそこではねず小屋に帰る。

7日

雪上ツアー隊帰ってきた。すごい日焼け（雪焼け）したなあ。午後雪上ツアー隊の打ち上げに飛び入り、もちろんサンアントン。見栄張っておごる。スキーをやって遊ぶ。

8日

グーグー ウダウダ ウロウロ グーグー モグモグ
グーグー

9日

グーグー モグモグ ウロウロ グーグー
あー買い出したなあたしか

10日

30期宮崎さん笹倉さん松尾さんに山スキーにつれていってもらふ。はじめての山スキーだった。コースは、小屋→ウー峰（三田原山のある稜線）2300m→池の峰東→林道→小屋
幅、数十m、長さ数百mのところどころアイスバーンのある斜面にきて、ここで帰らせて貰おうかと思った。こわいこわい。しかし、2300mからの眺望は少々

ガスったりしたが妙高山が目の前にあり反対側には笹ヶ峰が広がる抜群なものだった。時折北アの頭が雲の上に出ているのが見えた。

3月11日

ウダウダ、グーグーグー

3月12日

小屋のそうじを終え、これから帰ります。また来よう。

31st 増田

平成3年3月12日

今日帰る。今回の小屋の目的は三田原山から高谷池ヒュッテ、火打山付近の山スキーツアーだった。我々は30期の笹倉、宮崎、31期の松尾、久保の4人をメンバーをメンバーとする「同人ウー」なる組織を結成し、90年12月苗名小屋～池ノ峰（名古屋から30期土生が参加）。91年1月冬山訓練として南八ツ硫黄岳（久保不参加）。信越根子岳及び北八ツスキー（宮崎不参加）、2月安達太良山スキー登頂（久保不参加）、南八ツ赤岳登頂、等の訓練を行った。それ以前にも宮崎、笹倉は90年4月北アルプス室堂周辺、松尾は苗場山神楽峰、北アルプス南部乗鞍岳、6月にはその3人+元30期藤森と東北月山スキー等の下地はできていた。宮崎は元30期で現在は東京心岳会所属の藤田を師として沢登り、岩登り、冬山、アイスクライミングの手ほどきを受けた。笹倉は富山出身でスキーがうまい。

こうしてある程度自身をつけたところでやっと三田原山、火打山周辺へのツアーに踏み込んだ。去年12月の池ノ峰でもおっかなびっくりだったのに、経験を積んだお陰でわりと楽に行けた。結局、天候判断等で高谷池、火打山へは行けなかったが、松尾、宮崎は三田原山ピークを踏み、2300m峰（「ウー峰」と命名）へ3回、久保、笹倉、準同人の増田（31期）はウー峰へ1回、それぞれ登ることができた。毎回違ったルートから登り降りし、池ノ峰より稜線へ登る尾根（「池ノ峰尾根」と命名）から東側の斜面はほとんど網羅してしまった。

新しい発見もあった。ゲレンデから新しくできる予定のコースが見えるが、そのリフトの終点は1850m付近に出来ること。しかも小屋からほとんど真上の尾根（露岩マークのある尾根）上にも新コースおよび新リフトが出来るらしい。（1650m～1860mまで）小屋の井戸の水が濁れる心配はないだろうか。そういえば杉ノ沢を流れる沢水がえらく濁っていたのはゲレンデ予定地の伐採とは関係ないのだろうか。春も近い。朝と夕方、小屋の周りを歩くと野鳥のさえずりが楽しげに聞こえる。普段は感じられない季節の移ろいがはっきりわかる。同人ウーはまた2週間後小屋に来て今度は笹ヶ峰付近にテントを張って火打山南面の谷を滑るともりだ。

苗名小屋は山スキーの基地としてまさに理想的な位置にあることに気付いた。現役の頃は考えもしなかったことだが。自分としてはこれからもどんどん小屋を利用して妙高山塊のエキスパートになるつもりだ。夏は沢登り、秋は山菜、冬、春は山スキー……。しかし、今年はテレマーク2シーズン目だが、まだまだ滑れることは絶対条件ではない。斜滑降と谷回りキックターンさえ完全に出来ればいい。スキー技術よりも総合的な山の技術、冬山、読図、ビバーク等のほうが大事だ。現役の33期の人達も山スキーをやる気があるらしいので今から楽しみだ。

30期 宮崎

平成3年3月15日～3月18日

大学4年の3月以来、8年ぶりに小屋に来ました。今回は会社の同僚達12人を案内しての小屋入りで、どうなることかと心配でしたが、無事帰る日を迎えることができます。

スキーといっても社会人になると温泉がついてないのかとかゲレンデまですぐ行けるのかとか、口うるさいのが多い中で22～23才のOL2人、25才の奥さんもしっかり苗名小屋の生活をたのしんでもらうことができました。

又、今度は夏にも来てみたいなんて、言ってますのでどうぞまた利用させてください。
ありがとうございました。

23nd 丸山 俊二

平成3年3月26日

30期

宮崎

昨日小屋に入った。今回は2週間近い滞在の予定。車で笹倉の運転、笹倉はまた横浜へ戻った。横浜から高崎～三国峠～小出～柏崎～上越とまわって入る。柏崎から見る朝日に光る米山933m、上越～新井付近から見る青田難波山～火打山そして妙高山は初めての角度で新鮮だった。装備を1回で荷上げできないので、杉ノ沢の観光協会に食料を置かせて貰って1回目の荷上げをする。第2高速リフトからパノラマゲレンデを滑るが途中から講習会で人の多いゲレンデを嫌って西側の樹林帯に入るが、雪質がグズグズでターンできない。シブタミ橋下に3/6に作った雪洞はまだつぶれていなかった。小屋に着いてみると入口の前に生ゴミやら空き缶が散乱していて驚いた。たぶん23期の丸茂さん達が残した物と思うが、自分たちの出したゴミはきちんと下界までおろすか、生ゴミ以外なら倉庫の網の上にまとめて置いておいて欲しい。アルミ箔やたばこのフィルターとか空き缶を雪の上で燃やしても土には戻りません。多分ビニール袋に入れておいたんだ

ろうが、動物かカラスが食い破ったんだろう。ゴミの片付けで普段ならなくてもいい仕事が増えて不愉快だった。杉ノ沢の食料はもう松尾にもう1回取りに行ってもらった。明日4:30起床の予定で20時過ぎには早々に寝た。

翌26日は苗名小屋～三田原山～笹ヶ峰の予定が起きたのが6:30で、朝食後もう1～2時間眠ってから短縮コースに行くことにするが、次に起きたのが14:30。ほとんど何もしていないまま再び夜を迎えた。27日(水)後発の笹倉・土生(30期)久保・増田(31期)が大量の食料と共に来るのを迎えに行く。ゲレンデを滑るよりも新しいルートで杉ノ沢まで下ろうということで松尾と2人、シブタミ川を1000m地点まで下ってからゲレンデに出る新しいルートを開拓しようと出発。ところが途中、急斜面があり松尾が横滑りでまず下る。続いて私が少し離れた地点を下り始める。足元が不安定で滑落の危険を感じる。斜滑降で切り滑けようと足に力を踏み込んだ瞬間、足元の雪が崩れて50～60度の斜面を落ちる。真下に大木があるのを知っていたので、落ちていく間は木にぶつかる衝撃のことを考えた。わけもわからず落ちていって突然ドスツと止まった。木の横をすり抜けてその下の雪のやわらかい部分に軟着陸したらいい。それでもアタックザックの肩ひもが片方ちぎれて、テレマークスキーの左足の流れ止めもちぎれてしまった。怪我をしなかったのは本当に偶然だった。そこで沢の滑降をあきらめてスキー場側の斜面をキックステップラッセルで登る。安全地帯に出た瞬間、どっと疲れが出た。杉野沢まで下ったらみんなは約束の時間には遅れるし、リフトは止まってて天気図を取るために1時間半で下から歩いて登らなきゃならないしで散々の1日だった。

28日(木)本当は今日高谷池ヒュッテへ出発する予定だったが重用装備をチョンボした奴がいて、今日の出発をあきらめる。小屋周辺は1日中ガス。トイレの水位が異常上昇しているのでトイレの外の雪かきをしてマンホールと回りのコンクリートの上にビニールを乗せて防水する。林の中に新トイレを建設(松尾)。土生がキジの撃ち初めをする。しかし何となく新トイレに不満があるらしく、彼は新しく自分専用のトイレを作ることにする。理想のトレイ作りに励む姿に男のロマンを感じる。が、わずか10分程で断念して帰ってきた。いわく「我がウンコ道に悔い無し」。土生は名古屋の中学教師で、春休みの研修という名目でしっかり出張費をもらって小屋にきている。研修だから、レポートを提出しなければならないが、題名は「妙高の自然だそう」4月になって新クラスの担任になったら、生徒の前で開は一番、「私とウンコ」という題でとつとつと話を始めるそう。

平成3年3月29日

30 期宮崎氏、笹倉氏、土生氏 31 期松尾・久保の 5 人が高谷池ヒュッテに行ったので小屋の中は私一人になってしまった。一日中ほとんどキジ以外は小屋にいた。ギターを弾いたり本を読んだり少々そうじもやった。

あー暗くなってきた、こわいこわい、今ならまだ五八木荘に行けるぞ。

午後は天気が良いみたいだから（小屋にいたので断言できない）5 人は高谷池ヒュッテに着いて泊まるだろう。月がほぼ満ちている。今回はカメラ（普通の）と ISO1600 の高感度フィルムをもってきたので夕方と早朝、小屋の回りの写真を撮ってみようと思っている。だから私はさっさと寝るもりだ。

PM 7:00

平成 3 年 3 月 29 日

やっと高谷池ヒュッテに出発する日が来た。メンバーは宮崎・笹倉・土生（30 期）松尾・久保（31 期）。午後から晴れるという予報に期待して出発 5:45。仙人池付近までガスの中だったが第 2 尾根を越えると笹ヶ峰の展望があらわれた。笹ヶ峰からほぼ夏通沿いに高谷池ヒュッテまで行った。途中ナニ曲がりでは急斜面のアイスバーンで斜登行、キックターンで切り抜けたがこわかった。1790m 地点からはスキーを担いでツポ足でしばらく登った。天気は雲海の上に出てほぼ快晴。高谷池ヒュッテ着、14:45。いい小屋だ。

30 日（土）

今日も晴天だがごごから崩れるらしい。6:20 火打山へ。稜線沿いではなく南斜面をトラバース気味に取り付く。雪が固くてスリッしやすい。頂上直下であまりの雪の固さにスキーでは登れず、一旦登頂を断念するが、わずかに南側へ回り込むと雪は少しゆるみ初めていた。再び登り出すと 5 分ほどで頂上だった。あきらめなくて良かった。だがなぜ久保は登ってこなかった。さあピークからの滑降だ。雪質がアイスバーンに近いので始めは慎重に下る。笹倉がいきなりウェーデルンで滑り降りる。テレマーク組の私と土生は目点になる。松尾もそれなりにターンしながら滑っている。土生はテレマークを始めてゲレンデで数日練習しただけでいきなり 3 月の火打山の滑降をやろうとそている。勇気があるというか何というか。私も数回のテレマークターン決めることができて内心ほくそえんだ。一度小屋へ戻って荷物を回収して茶臼〜黒沢岳の鞍部まで歩く。黒沢池までの大斜面は無立木でどこでも滑れる。広大な空間には仲間以外だれ一人いない。思い思いにターンしながら下った。再びシールをつけて三田原への西斜面に取り付く頃からガスと風雪が厳しくなってきた。いい加減披露もピークになってきた。三田原ピークも濃いガスと雪の中だった。視界がないのでここから稜線上を 2300m 付近まで歩く方が安全

だが、バテている者がいたのでシールを外してトラバースで下ることとする。火山性の地形はガスされるとわかりづらい。地図と高度計とコンパス、それに鍛え上げた読図力がものを言う。沢の源流を 2 つわたって目的の斜面に出ると、意外なことに完全にガスがなくなった。うれしい誤算だった。ツアー最後の高度差 1000m の滑降だ。岳樺の斜面をみんな思い思いにターンしながら下る。さすがに満足そうな表情が伺える。一部密林に手こずったが、無事小屋までたどり着けた。

3 月 31 日

前年の 9 月から始めたローソンの徹夜バイトは商魂たくましい店長と優しい奥さんの 2 人とのしがらみが断ち切れず 1 月になってから週 4〜5 日、2 月に入ると週 6 日というすさまじいものになってしまった。そう 2 月という花の試験期間。そんなときにこれだいえバイトをやってて単位がとれるわけではない。折しも春闘前の話題として「時短」「週 40 時間労働」などという言葉が誌面をにぎわせていたような気がする。ちなみにローソンのバイトは PM10:00〜AM8:00 の 10 時間労働で前述の店長がケチなので、駅前で決行客は多いのにこの時間帯はバイト 1 人でやらせるのである。しかし単位に関してはほとんど関心がなかった（あきらめていた）ため、その当時、精神的苦痛はなかった。

前年の 11 月下旬から普通免許と自動二輪（中型）免許を取るべく関東自動車学校へ通っていた。生協を通して申し込んだにもかかわらずスピードプラン、優先予約のことは知って活用しなかったのだが、高校生の多い時期でそううまくいかない。となるとあとはなんとかキャンセル待ちに期待するしかないの、朝早くから夜遅くまでキャンセルを待って粘っていた。そんなわけで単位がとれるわけではない。しかしまあ努力の甲斐あって遭対合宿出発 3 日前にバイクの卒業、出発当日に車の方の卒検になんとか合格できた。

朝日が昇り、鳥がさえずり、出勤、登校の人達が大勢ローソンに寄る頃、やっと仕事が終わる（AM8:00）。そこから愛車ミント（50cc）に乗って汚いアパートに帰る（8:10）。すると授業には全く出ず、人生について深く考え込んでばかりいる増田（31 期）がいつも私のベッドかこたるの中にいた。彼はいつものごとく夜中、物思いにふけり、ちょうどこの時間になって寝始めるという。寝時間は当然私のベッドかこたつだった。私はそれをチラと見て、すぐに教習所に向かう。朝 8:30 からのキャンセル待ちのために……。ここでは運良くキャンセル待ちにありつけても呼び出されたときに本人がいなかったら一番最後にまわされ、また根気よく待たねばならないので 1 日中なるべく離れないようにする。テストのあるときは直前まで教習所においてミントで学校にいき、終わったらすぐに教習所へ戻った。雪上ツアーのミーティング、トレーニン

グの時も然り。PM8:00頃最後のキャンセル待ちがアナウンスされ「今日もダメだった・・・。と一息つきアパートに向かう。わずかな安息の時間をアパートで過ごし、PM9:50ローソンへ。そして再び長い夜が始まる。今頃は増田がゴソゴソと起き出して活動を始める時間だ。こんな生活が水曜を除く毎日続く。以上、私、松尾(31期)の1年生の遭対合宿に来る前の日常生活でした。充実していたのかしていなかったのかよくわからないけど、はるか昔の不健全でそれでいて楽しかった頃ですね。それ以降は少し健全で楽しくもあり苦しくもあった大学生活が今まで続いています。

今日は休息日ということで小屋でのんびりとしているとこんなつまらないことを思い出して書いてしまいます。別に深い意味はありません。最後に極度の睡眠不足と疲れのためにうるさく言ってきた私ですが、これだけは情けないことですね。

今晚も明日も本はたくさんあるのでしっかり読書しようと思います。

屋久島隊の皆、残念でしたね。あまり引きずらず次に向けてしっかりとやって下さい。

31期 松尾

平成3年4月3日 22期 鴨志田岳志

昨日小屋に入るとつい今まで誰か寝ていましたという感じでシュラフ、ふとん、毛布が散乱していた。夜になってもシュラフの主は帰ってこない。いったいどこへ出かけたのだろう。下界へ温泉一泊ツアーへ行ったのか?とでも思うことにして小屋の鍵はそのままにして帰ります。

ところで4/1~リフトがほとんど動いていない。雪があるのに客がいらないからなのでしょう。久しぶりの国際杉の原の変わり方には驚きました。田舎のスキー場という感じを脱却しようとリフトを作り替えているのでしょうか。本当に何年ぶりかでここですべてみるとゆるやかなスロープで、学生の頃新しくできた杉の原でハーハー言いながらひっしにすべっていたのがうすのようです。少しは自分のスキーも上達したということなのでしょう。以前は国際や杉の原の上の方にもう少しコブがあったような気がするのですが。今回は職場の同僚と3人で来ましたが静かな小屋で楽しい一夜を過ごすことができました。ただ、堀ごたつのレンタン火ばちがこわれていたのが唯一残念でした。あと、ガス管は早急に取り替えましょう。早稲田の小屋のようになる前に・・・。

パラパラ小屋日誌を見ていると最近小屋周辺へ山スキーに出かけている様ですね。僕も年に数回ですが山スキーというものをやっています。今春は清水→巻機→大鳥帽子→宝川というコースを目指したのですが、あえなく敗退しました。実は昨年も同じコースを目指し

たのですがやはり吹雪で失敗しています。年を減るに従って確実に体力・気力の減退を痛感しているこの頃ですが、今度は是非小屋をベースにして周辺の山スキーに挑戦しようという気になりました。また、小屋周辺の山スキーに行ったら楽しそうな記録を小屋日誌に残しておいて下さい。

平成3年4月5日

鴨志田さんが不審に思ったシュラフの主は宮崎氏(30th)、増田、松尾(31期)です。4/2より高谷池ヒュッテ、火打周辺へ登り、ヒュッテに3泊して今日ここに帰ってきました。ありがたい帯状高気圧のお陰で4日間すべて快晴で展望の素晴らしさはもちろんのこと、無立木の広大な斜面、吸い込まれそうな谷の斜面、生々しい雪崩の跡など表現しづらいのですが、とても良かったです。その中でも最高だったのが、昼下がりの高谷池周辺と高谷池ヒュッテで過ごす夕暮れ時でした。

今回のコースは宮崎氏が後にこの日誌に書くそうなので私は書きません。

やっぱり登山は楽しい。でも読図、ルートファインディング能力をもっともっとなければ山スキーは楽しいものとなりませんね。おもしろくする可能性がまだあるということにして、この反省を自戒に活かしていきましょう。

宮崎さんとゴリは今晚も泊まり、明日は土合へいくそうですが、私はそろそろパッキングをして下に降りようと思います(PM3:40)。12日間分の臭さを妙高温泉で洗い流し、急行妙高で帰ります。

今の目標

早く日常生活に戻る

統一地方選、投票日には横浜にいたいなあ。

31期 松尾

平成3年3月31日

前々頁の日記の続き 30期 宮崎
休養日。終日小屋内でゴロゴロ過ごす。本棚にある浮浪雲を読む。浮浪の生き方は、新潟が生んだ大人物「大愚良寛」のそれに通じるものがある。

4月1日

2週間近くも小屋にいてゲレンデに1度も出ないのもどうかと思い、勇気をふりしぼって1日券を買うことにする。考えてみたら今シーズン、冬小屋3月上旬そして今回と1カ月近く小屋にいるのに、ゲレンデを滑るためにゲレンデに出かけたのはただの一度もない。サンアントンに行くためとか、1年生を迎えに行くとかは別にして。その割にはゲレンデを歩いて登った回数はやたらあったような気がする。

ゲレンデに出てみると第2高速のダイナミックコースで大回転の大会をやっている。第2高速乗り場まで滑っていくと、なんと第一高速は動いていない、ゲレンデは閉鎖していた。動いているのは杉の原のロマンスリフトとゴンドラ、国際第2高速リフトだけだという。1日券を買うためには下まで行かねばならず、上に昇る為にはゴンドラに乗らなきゃならない。すると4200円もとられる・・・さんざん迷ったあげく、レテマークの練習もしなければと思い、整備されていない国際コースを滑り降りる。ゴンドラ共通一日券が3500円に値引きされていてほっとした。ゴンドラで上にあがり、国際の上部専門ですべる。テレマークによるアルペン系の滑りの練習をする。ある程度できるようになったから空きのゲレンデで3時間すべり続けたらもうフラフラ。サンアントンで日和って、早々に小屋に戻った。

4月2日

4時半起床。5:43出発。今回のメンバーは宮崎(30キ)松尾・増田(31キ)。予定では3泊4日で高谷池ヒュッテ定着で周辺の山や谷を滑りまくるつもり。前回の3/29~30の時は笹ヶ峰経由で行ってけっこう時間がかかったので、今回は三本木から池の峰尾根1950m地点までは順調に進んだ。ちなみに天気は晴れ。そこから山腹を巻き気味に三田原山へ出ようとしたのがいけなかった。柄沢の源流の深い谷を2170m地点で渡ろうとする。右岸はやや雪尻ぎみになっていて、40度くらいの斜面を進まなければならない。雪が堅くてかなりこわい。松尾・増田が先に通過する。いけると判断するが、途中でストックの握り部分にピックルのピックに似たものを取り付けられるようになっているので制動をかけるがとまらない。20mくらい落ち自然に止まった。そんなバカな。これくらいの斜面で滑るはずはないと挑戦すること4回、全然ダメで合計50mくらい高度を失った。途中で気付いたのだが、シールが両スキーの前半分くらいはがれてしまっただけでエッジが全く効かなかったのだ。あきらめてスキーをぬいてザックにつけてキックステップで登る。当然ながら登れる。シブタミ川の滑落の時もそうだが、スキーは万能ではないのだから、危険箇所ではスキーを外すことを考えなければいけない。まだまだその辺の判断が甘いようだ。結局シールのりを塗って三田原山山頂まではつぼ足で登った。その後は順調に黒沢池まで滑降。茶臼岳と黒沢岳の鞍部までシール登行。そこからシールを外して高谷池ヒュッテまで滑った。小屋到着14:45。トラブルのせいで笹ヶ峰経由のときと比べても全然時間短縮にならなかった。トラブルといえば雪質のせいでシールに雪がダンゴのようについて歩行の障害になった。スキソックスとやらの使

用も考えねば。天気予報によるとこれから2日間は晴れるらしい。

4月3日快晴

まず高谷尻谷右俣を滑る。7:30発。雪質は固い。滑りやすい雪と適度な斜面が続き楽しい。1660mまで滑る。今度は左俣をシール登行する。直登できる傾斜が続く。1830m地点より北側に見えるカール状の場所はよだれが出そうない斜面だ。小屋にいったん戻るためそちらへは行かず東側の沢沿いを登る。1900mの地点からいる傾斜を求めてさらに東にうつる。その途中で増田が50mくらい落ちたらしい、みていなかった。小屋着10:24。

11:00今度は火打山ピークへ出発。天狗の庭から稜線へ取り付き、澄川源流をのぞく。吸い込まれそうな斜面だ。今回は昼頃ということで雪もやわらかく、不安なくピークを踏んだ。昨年10月に登った尾瀬隧ヶ岳や越後三山が見えた。佐渡島も見えるほどの快晴だった。滑りのほうは雪が腐っていてまともなターンができずイライラがつのった。途中から火打南東尾根に入るとやっと滑れる雪質になって少しだけ溜飲を下げた。鍋倉谷源流2000m地点まで滑り、天狗の庭経由でヒュッテに戻った。15:30着。

4月4日快晴

はじめは火打山北東に登る澄川を1700mくらいまで滑ってまた登り返すつもりだったが、昨日雷鳥平から見下ろしたときのあまりのスケールの大きさに気後れがしてやめにした。それよりも昨日から見あげた高谷尻谷左俣上部のカール状の斜面に触手が伸びた。ただ上部に雪尻が見えていたのでその部分をどう滑り降りるかが問題になりそう。天狗の庭付近から南へ滑り降りる。雪尻の出ない所から滑る。早朝アイスバーンだがわりと滑れる。どんどん滑り降りて鍋倉谷出合まであっという間に着く。鍋倉谷は高谷尻谷とはうって変わって両岸がかなり切り立っている。その変わり傾斜はゆるい。スキーを担いで鍋倉谷へ入る。スキーでは登れない部分はあまりないが、両岸から雪崩というかデブリの跡がずっと続いていて緊張する。滝で行き止まりになる手前の右手から入る支流にルートを求めてキックステップで登る。急斜面を登り切るとようやく安心して休める。このあたりから暑さが耐え難くなってきた。暑くてたまらないのと、雪がくさるだろうと予想されることから今日はこの1本で終わりにする。100m高度をかせいで休憩という感じで小屋にもどった。13時頃着。その後は16時までフリータイム、3人とも好きな場所へ銀マットやらお茶、レーション、本、ラジオなどを持ってでかけた。私はラジオを聞きながらぼーっと空を眺めた

りしていたらいつの間にか寝てしまって、寒さで目覚めたのは15:45だった。増田は毎朝夕、写真を撮るとっては外へ出ている。傑作をものにしただろうか。

4月5日

今日は下るだけだ。晴れ。茶臼～黒沢岳鞍部から黒沢池へ滑り下りる。一度も転倒せずに黒沢池まで下った。そこから南へ黒沢の流下口まで滑走。ほとんど平ら。黒沢へ入る。途中まで快適に滑る。中盤から両岸が切り立ってくる。流が出ている部分があって左岸のシュプールに従って高巻こうとするが行き詰まる。横滑りというか、横ずりおちで切り抜けた。その難所を過ぎると真夏の渡渉点近くに出る。・流の出ている地点で水を汲むが、ポリタンゴと沢に落としてしまった。それを拾うのに四苦八苦する。その後は京大ヒュッテまで緩斜面の樹林帯を、木を右に左によけながら快適に下りる。今日はそんなに暑くなくて助かる。笹ヶ峰からは山スキー2人はシールをつけて、私はノーシールで滑走する。時々、この4日間というか12日間というか余韻を惜しむかのように大休止してぼんやりとする。苗名小屋12:33。

今回の山スキーは、天候に恵まれ、冬山の要素もほとんど無かった。しかし何度も滑降したりして怖い目にあった。これから山スキーを始めようという人も、十分に覚悟して、技術と知恵を駆使して楽しんで欲しい。妙高・火打山塊は奥が深い。西の天狗原山・金山・焼山北面や高松山、屋閼山なんかはまだ手もつけていない。この山塊は日本でも最もスキーに適した山の一つだ。その山麓に山小屋を持っているのだから利用しない手はない。

平成3年4月6日

AM10:50

今だいたいひととおりの片づけを澄ませた。これから回数券が8枚あまっているので増田と2人でそれを使い切ってから妙高温泉に入り、その後土合へ行く予定。増田が一の倉沢を見てみたい（この季節の）というのでそれについて行くことにした。

今回の小屋滞在は3/25～4/6の13日間で8泊×200円＝1600円

小屋周辺の自然を知れば知るほどますます小屋に対する愛着がわいてくる。自分の中でも小屋が非常に愛おしいものになっていき、離れがたくさせる。古い小屋日誌を読んでいても歴代の部員や、また部外の人でもこの小屋から大きな糧をもらってまた街の生活へと戻っていく様子がよくわかる。

もっともっと深く、この小屋や周囲の自然を知りたい。そしてそれを守っていきたい。

平成3年4月28日

今年も新歓で、小屋に来た。今年も春の大雪がまだ残っている。山靴、ロンスパを持ってきたのは正解だった。1ヶ月半振りに小屋を見た感想は「建っていて良かった」だった。去年は雪がほとんどなかったのに自分が小屋委員になった途端の大雪。春小屋を出てからも小屋が建っているのか心配になったことも幾度かあった。でも冷静に考えてみれば、4/6に小屋を出てきた宮崎さんに昨日あったばかりだから、小屋が潰れているはずもなかったのだった。まあでもこれで今年中に小屋が潰れるということもなくなり、一安心というところです。今回の新歓小屋は、焼き肉が少し失敗したところもあったが、とりあえずは晴れて、雪のある小屋が見れて良かった。次に来るのは夏小屋合宿と、かなり間があいてしまうこととなります。

33キ 鈴木

平成3年4月29日

上の鈴木君達と一緒に運転手として小屋に来ました。新歓の為にきたのですが、新入生が4人と少なかったのだけが残念でした。しかし、新入生の小屋の第一印象は「思ったよりずっと良い」「快適」とのこと。やはり歓迎の時に小屋のことはケチオンケチオンに言っておいた方が良いでしょう。

次回来るときは夏小屋かと思いますが、その時は年の進路が多少見えてきているのでしょうか。

それでは又

32期 高瀬

平成3年5月5日

三田原 2300 ぐらいにいったり下りてこようといいかげんな予定をたてたのですが、結局 1660 (あのリフト予定地の終点かな?・・・ここに土台をうつぞというしはあった) くらいかていってあとは、ギャーギャーいいながらレテマークの練習(?)をして終わってしまった。

今年とはいうか90～91冬春は職場の山スキーやさんについて3回ほどあちこちをこわい思いしながらすべってきました。来年は是非、火打一三田原をやりたいと思います。いろいろ楽しそうな記ろく参考になりました。

ただこの連休、ササガミネには山スキー屋、レテマーク、ゲレンデ派とぎょうさんおりました。少し予定がづらせば静かでもいいだろうな。

23キ ムトウ

またヒデジと共に来ました。午前中は行動せず、午後になって動くという、とても優雅なゴールデンウィークを過ごしています。

これこそ休日の正しい使い方でしょう。カリカリしない。のんびりする。外がいくら快晴でも、これ以上ないという快晴であっても・・・我々は寢床から起き出してはいけないのだ。時計のない生活こそが豊かな生活なんだろうなあ（うん、一理ある フムフム）それではこれから仕事が山ほど溜まっている諏訪に帰ります。

次は仕事の山に登るんだよなー、まあ、いいよね。
25キ 竹内

平成3年9月6日

最後の合宿も無事終了して、小屋に戻ってきました。補修をした。

33キ 木村

平成3年9月8日

管理人 岡田

悟
夏期合宿に度々お訪ね下さったが多忙のためリーダーの木村様に御逢い出来ず残念でした。今春杉野沢区長と財産区管理会長へ陳情した飲料水の件、お逢い致して再三再四督促を御願いして頂き度かったのですが実現出来ず残念であった。仲々困難な問題であるが熱心に運動継続しないと遅々として進まず来年と云はずに両者に手紙でも良いから御願いをして見て頂き度く清酒1級2本宛寄贈して頂きたく思ひます。以上

平成3年10月10日

22期 鴨志田

10/8～10/10 2泊3日 OB1名
部外者4名。料金入れました。10/9火打に登る。岡田さんの連絡現役に伝えます。

平成3年10月19日

こんな時期に小屋に来る人間もめずらしい。実は黒姫でパラグライダー講習をうけているので宿代わりに使っている。窓から見る山もイイゾ。また冬になれば山スキーが始まる。みなさんまた滑りましょう。

30th 笹倉

平成3年12月28日 AM 3:30

25日に小屋に入りました。雪があまりにも少なくてスキー場は閉鎖。宮前からは歩いてきました。ゲレンデも草や石が見えている状態でした。みんななんの為に小屋に来たんだろう？！と言っていたけれどなんのなんの「小屋に来るため」ですよ！小屋で余計なことは何も考えずみんなと過ごすのが私は大好きです。スキーもいいんだけどね・・・。

感動したのはサンアントンが開いていたこと。五八木荘のおじさんにゲレンデのお店はやっていないと聞いてがっかりしていたらやってるやってる！喜んで飛び込みました。お姉さんは相変わらず美しかった。野沢菜は相変わらずおいしかった。でも本当に人が来ないので大変でしょうね。早く雪がたくさんつるといいのに。

本当に小屋での～んびりしました。スキーが出来ないから来る予定だった部員も来ず、OBの方々もいらっしやらずちょっと残念でしたが。でもこれくらい的人数（現役7人、前半は5人でした）ですごくのもまたいいものでした。さっきまでモノポリートランプをしていて（その前にお酒でつぶれた者1名あり）真夜中におしるこまでつくって食べてしまった。何か不思議なムードの冬小屋でした。明日じゃなくて今日には帰ります。今東京も雪だとか・・・。久しぶりにこの日誌を見たら同人ウーの活動、すごいなーと思いました。私は雪山とか山スキーとかは今はそれほどやりたいとは思わない（こわいなー。という気持ちがつよくて）けれど、でもずっとずっと自然に近づいていって自然に受け入れてもらいたいなーとは思っています。言葉、変だけど。来年も良い年でありますように。今度来るのは1月の雪下ろし、かな？

34期 小野恵美子

平成3年12月31日 1:02 AM 雪

気がつけば今日は大みそか。昨日はいろいろありました。

悪いこと

1、高崎行きと黒磯行きに間違えて乗り、横川・軽井沢間では特急に乗らなければならず950円とられた上に妙高の駅は11:00 a mに着くはずが結局1:00 p mに遅れてしまった。

2、強風の為リフトが運休、第1高速は動いていたので小屋まで歩いた。予想通りの積雪の多さのため結局3:00 p mにリフトに乗ったのに小屋に着いたのは6:00 p m

3、辺りは日が暮れスキー場のナイターの光と雪の反射だけを頼りに小屋に着いたのに、スキーは一組もない。ふとヤナ予感が走る。小屋の中は明かりがない。何故どーして、Why? 折角苦労してここまで来たというのに誰もいないとは・・・。

良いこと

- 1, 電車の乗り方を学んだ。
- 2, 妙高の駅前のやおとくで昼食が食べられた。前々から行きたいと思っていたのになかなか行けなかったので・・・。
- 3, リフトの回数券を買おうとしたら見知らぬスキーヤーがリフト券をゆずってくれた。
- 4, 100cmの積雪、年末スキーが楽しめる。新コースに繰り出せるかも。しかし、この雪は小屋に入る苦労を大きくした。
- 5, 折角小屋に来たのに今日は一人が「チェ」とインスタントラーメンをすすっていると、23キ武藤さん25キ竹内さんが来てくれて話が出来た。

良い事と悪い事を比べてみると良いことの方が一行多い。そうか今日は良い日だったのかと思ってよくみると良いことに下になんて書いてある。とすると今日は良い日でも悪い日でもなかったということになる。なんだかよくわからない。今年の冬小屋へは長い道のりであった。行くの辞めようかと思ったことも何度かあった。でもなんとなく今ここにおる。今年はスキーをすることが小屋に行く目的のつもりでいた。でも今はそんなに強くスキーをしたいとは思えない。思えばなんとなく小屋に来たかったのだろう。なんとなく足が向いていた。冬小屋はなんとなくだと思う。

1 : 4 3 a m

33 期 鈴木秀治